

第66回宮城県災害対策本部会議

平成23年4月27日10時00分

1 災害の概況

- (1) 発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃
(2) 震央地名 三陸沖（北緯38.0度，東経143.9度 牡鹿半島の東約130km）
(3) 震源の深さ 約24km
(4) 規模 マグニチュード9.0
(5) 最大震度 震度7（栗原市）
(6) 津波 7.7m（石巻市鮎川）
7.2m（仙台港）
※痕跡等から推定した津波の高さ（平成23年4月5日仙台管区気象台発表）

2 被害の状況（余震による被害を含む）

(1) 人的被害（詳細裏面）

死者 8,535人
行方不明者 6,674人
重傷 69人
軽傷（その他を含む） 3,377人

(2) 住家・非住家被害（詳細裏面）

全壊 55,146棟（調査継続中）
半壊 11,638棟（調査継続中）
一部破損 11,571棟（調査継続中）
床上浸水 88棟（調査継続中）
床下浸水 2,276棟（調査継続中）
非住家被害 15,262棟（調査継続中）

(3) 避難所・避難者数（詳細裏面）

避難所 433施設
避難者 40,788人

(4) ライフライン

裏面のとおり

(5) 各部局所管施設等の被害額（暫定値）※最新の情報は別添の各部局資料参照

総務部関係被害	1,935,000	（調査継続中）
企画部関係被害	6,000	（調査継続中）
環境生活部関係被害	8,994,289	（調査継続中）
保健福祉部関係被害	27,076,126	（調査継続中）
経済商工観光部関係被害	732,000,000	（調査継続中）
農林水産部関係被害	937,230,644	（調査継続中）
土木部関係被害	466,287,000	（調査継続中）
企業局関係被害	2,537,096	（調査継続中）
教育委員会関係被害	98,876,233	（調査継続中）

計 2,274,942,388 千円

3 各部局の被害状況

別添のとおり

【宮城県の天気予報】 27 日 5 時 発表

東部

今日 (27 日) 北の風 後 南の風 やや強く 海上 では 南の風 強く
くもり 所により 雨 で 雷を伴う

明日 (28 日) 南の風 やや強く 後 西の風 やや強く 海上 では 南の風 強く
雨 昼過ぎ から 晴れ

海

今日 (27 日) 波 1.5 メートル 後 3 メートル

明日 (28 日) 波 4 メートル 後 3 メートル

西部

今日 (27 日) 東の風 くもり 所により 雨 で 雷を伴う

明日 (28 日) 東の風 後 西の風 やや強く 雨 昼過ぎ から くもり

気温 今日日中の最高気温	21 度 (仙台)
	18 度 (石巻)
	20 度 (古川)
	23 度 (白石)
明日朝の最低気温	12 度 (仙台)
	11 度 (石巻)
	10 度 (古川)
	12 度 (白石)

降水確率 (06-12)	10% (東部)
	20% (西部)
(12-18)	30% (東部)
	30% (西部)
(18-24)	20% (東部)
	30% (西部)
(00-06)	60% (東部)
	50% (西部)

【天気概況】

低気圧が日本海西部にあつて、東北東へ進んでいます。この低気圧から前線が東北南部へ伸びています。

【宮城県】

宮城県は、曇りで西部を中心に雨の降っている所があります。

27日は、前線の影響により、曇りで雨の降る所があるでしょう。午後は大気の状態が不安定となるため、雷を伴う所もある見込みです。

28日は、寒冷前線が通過するため、昼前にかけて雨の降る所が多いでしょう。その後は、東部は晴れますが、西部は寒気の影響により曇りの所が多い見込みです。

<天気変化等の留意点>

27日昼過ぎからは、大気の状態が不安定となるため、雷の発生する所がある見込みです。竜巻などの激しい突風や急な強い雨、落雷、ひょうに注意して下さい。

平成23年東北地方太平洋沖地震に係る気象予想について

平成23年4月27日07時00分 仙台管区気象台発表

【防災上のコメント】

雨に関するコメント:27日午後は大気の状態が不安定になるため、雨や雷雨の所もある見込みです。
また、28日は昼前にかけてまとまった雨が降る見込みです。28日6時までの24時間雨量は多い所で20ミリの見込みです。

その他のコメント:27日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけては雷の発生する所がある見込みです。

竜巻などの激しい突風や急な強い雨、落雷、ひょうに注意して下さい。

27日昼過ぎから28日にかけては風がやや強い見込みです。強風に注意して下さい。

【宮城県】 宮城県は、概ね曇りです。

27日は、前線の影響により、曇りでしょう。午後は大気の状態が不安定となるため、雨や雷雨の所もある見込みです。
28日は、寒冷前線が通過するため、昼前にかけて雨の降る所が多いですが、その後は東部を中心に晴れるでしょう。

【天気等の見通し】

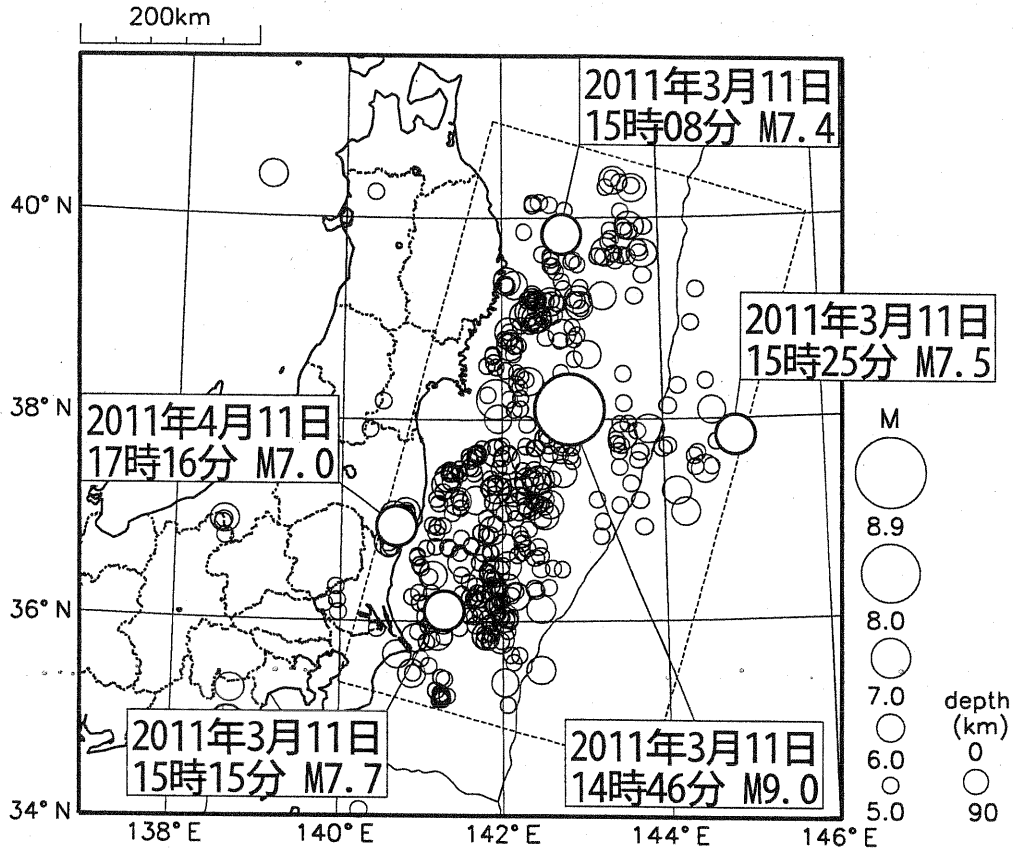
		27日										28日		
		06-09時	09-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	00-03時	03-06時	06-09時	09-12時			
気仙沼地域 (気仙沼市、南三陸町)	天気	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	雨	雨	雨	雨	
	気温(°C)	13	17	17	14	12	11	10	11	15	11	11	11	
	風向(16方位)	北北西	南東	南東	東南東	西北西	西北西	西	西北西	西南西	西北西	西北西	西北西	
	風速(m/s)	1	3	6	6	5	5	5	5	5	5	7	7	
	3時間降水量(ミリ)	1	0	0	1	1	0	6	7	12	5	5	5	
石巻地域 (石巻市、東松島市、 女川町)	天気	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	雨	雨	雨	雨	
	気温(°C)	13	16	16	14	13	12	11	12	14	11	11	11	
	風向(16方位)	北北西	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南	南	南	南	西北西	
	風速(m/s)	2	4	10	12	13	12	11	10	10	10	10	10	
	3時間降水量(ミリ)	0	0	0	1	0	0	9	10	15	3	3	3	
東部仙台 (仙台市、雫石市、多賀城市、 名取市、岩沼市、七ヶ浜町、 利府町、富谷町、大和町、大 郷町、松島町、亶理町、山元 町)	天気	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	雨	雨	雨	雨	
	気温(°C)	14	17	19	16	14	13	13	13	13	14	14	11	
	風向(16方位)	北東	東南東	南南東	南	南	南西	南	南	南南東	南	南	西北西	
	風速(m/s)	2	5	10	13	10	8	9	9	9	10	10	10	
	3時間降水量(ミリ)	0	0	1	0	0	0	7	8	11	11	11	3	

このお知らせは、当分の間、毎日07時00分頃、16時30分頃に発表する予定です。
問い合わせ先:仙台管区気象台技術部予報課 022-297-8103

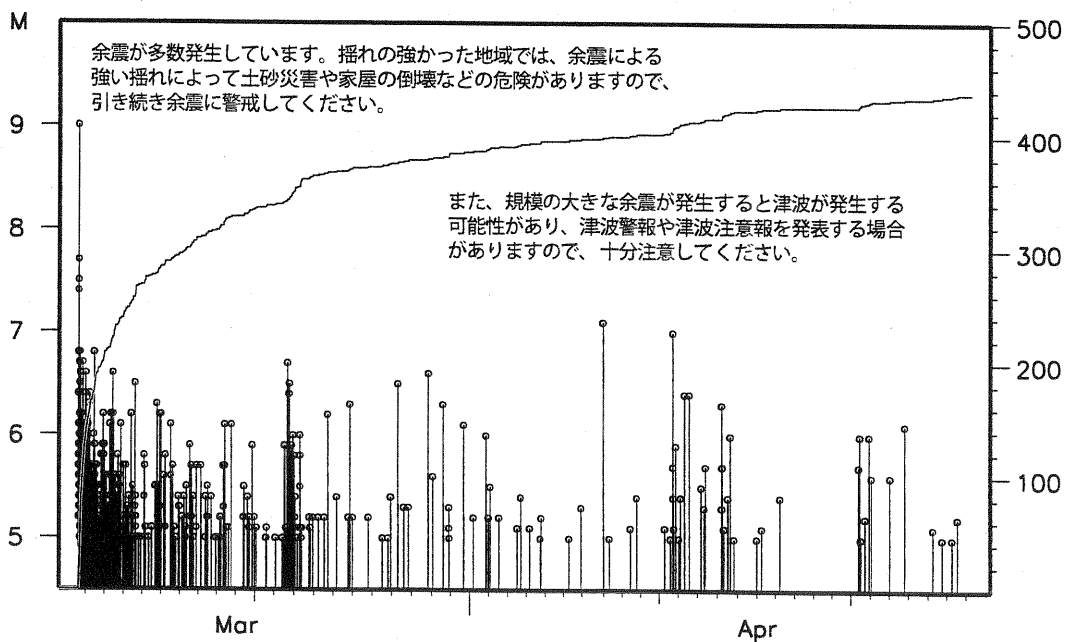
「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」 余震の活動状況（速報）

震央分布図

（2011年3月11日14時～4月27日07時、深さ90km以浅、M5.0以上）



上図の矩形領域内の地震活動経過図および回数積算図



地震の震源要素等は未精査のものであり、再調査の後、変更することがあります。
「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震以外は、一部未処理となっている場合があります。

東日本大震災における被害状況等【総務部】

職員の被災状況について（知事部局）

- ・安否不明者 職員1人
- ・死亡者 職員8人（非常勤2人を含む）

施設関係（県庁舎、合同庁舎）〔被害額：450,000千円〕

- 県庁舎、議会庁舎〔被害額：110,000千円〕
 - ・議場天井破損（使用中止），内外装損傷多数，ガラス破損，公用車1台流失 など
- 大河原合同庁舎〔被害額：12,000千円〕
 - ・駐車場ひび割れ，内壁一部破損，給排水管破損など
- 仙台合同庁舎〔被害額：17,000千円〕
 - ・天井・内壁破損，給排水配管破損，電気系統破損など
- 大崎合同庁舎〔被害額：15,000千円〕
 - ・排水配管・ガス配管破損，歩行通路破損など
- 栗原合同庁舎〔被害額：12,000千円〕
 - ・地下受水槽漏水，自家発電機漏油 など
- 登米合同庁舎〔被害額：14,000千円〕
 - ・受水槽漏水，階段・天井一部・機械室破損，地割れ，タイル破損など
- 石巻合同庁舎〔被害額：270,000千円〕
 - ・設備関係全壊など
- 気仙沼合同庁舎，南三陸合同庁舎〔被害額：調査中〕
 - ・設備関係全壊など（甚大な被害のため詳細は調査中）

施設関係（地方公所等）〔被害額：1,231,000千円〕

- 知事公館
 - ・天井・壁のクラック及び破損
 - ・庭園の四阿（あずまや），灯籠3基が倒壊など
- 公文書館〔被害額：50,000千円〕
 - ・館内壁面クラック，窓ガラス破損 など
- 中央県税扇町出張所
 - ・窓ガラス破損 など
- 東部県税事務所〔被害額：3,000千円〕
 - ・公用車5台流失 など
- 消防学校〔被害額：1,000千円〕
 - ・校舎の外壁クラック及び内装モルタル剥がれ，校内アスファルト舗装クラック など
- 防災資機材センター（オイルフェンス等備蓄倉庫：仙台港）
 - ・A棟半壊，B棟全壊〔被害額：80,000千円〕
 - ・油吸着材・オイルフェンスなどの流出 など
- 公務研修所（東北自治総合研修センター）〔被害額：100,000千円〕
 - ・各棟内壁のクラック及び破損，エレベーター2機故障 など
- 仙台南県税事務所〔被害額：16,000千円〕
 - ・建物の基礎部分の破損 など
- 塩釜県税事務所〔被害額：14,000千円〕
 - ・所内壁のクラック及び破損，窓ガラス破損 など
- 気仙沼県税事務所〔被害額：5,000千円〕
 - ・公用車5台流失 など
- 防災ヘリコプター管理事務所
 - ・1階部分及び格納庫内が流出土砂で壊滅状態〔被害額：190,000〕
 - ・防災ヘリコプター〔被害額：750,000千円〕
 - ・ヘリコプター関係車両，公用車が流出し大破〔被害額：22,000千円〕 など
- 防災関連システム
 - ・防災行政無線システム等の機器流失 など

職員宿舍関係〔被害額：150,000千円〕

- ・県内18箇所，22棟のうち，15箇所，18棟で被害
- ・気仙沼・石巻地区の宿舍については1階部分浸水，その他地割れ，地盤沈下，外壁ひび割れ等

私立学校関係

○私立幼稚園・学校等の被害状況

	幼稚園	小学校	中学校	中等教育	特別支援 学校	高校	専修・ 各種学校	計
管理校数	182	4	7	1	1	19	72	286
うち連絡不通	0	0	0	0	0	0	0	0
うち連絡可	182	4	7	1	1	19	72	286
人的被害	64(61)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	6(6)	0(0)	71(68)
うち死亡	59(57)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(5)	0(0)	64(62)
うち行方不明	5(4)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	7(6)
施設被害	132	4	7	1	1	19	65	229
休校・休園	180	4	7	1	1	19	31	243

※人的被害数のうち（ ）は園児・生徒数で内数

宮城大学関係〔被害額：104,000千円〕

- ・人的被害 1人死亡（看護学部1年・女性・石巻市在住）
- ・建物に大きな被害は無いが、大和キャンパスの天井・壁や空調設備配管及び、実験用機械器具等に破損あり

総務部関係被害額（※被害額は、調査中に付き暫定額である）

- ・庁舎等施設関係 〔被害額：931,000千円〕
 - ・防災ヘリコプター 〔被害額：750,000千円〕
 - ・職員宿舎関係 〔被害額：150,000千円〕
 - ・宮城大学関係 〔被害額：104,000千円〕
-
- 計 〔被害額：1,935,000千円〕

被災者生活再建支援制度関係

市町村説明会実施 県南、県北ブロック及び沿岸部には、出向いて説明（3/24～3/31）

寄付金、義援金等の申し込み

復旧・復興寄付金 1,514件 5,197,518千円（4/22現在）
ふるさと寄付金 1,160件 80,868千円（4/22現在）

支援物資関係

- ・(社)全国建設機械器具リース業協会より灯油、軽油、ガソリン、ストーブ、ブルーシート等の提供
- ・川崎重工業株式会社からヘリコプター1機無償貸与、毛布、マスクの提供
- ・トヨタ自動車株式会社から普通自動車50台の提供
- ・スズキ株式会社から原動機付き自転車20台、軽トラック10台の無償貸与（貸与期間2年間）
- ・日産自動車株式会社から軽バン10台の無償貸与（貸与期間6ヶ月）
- ・株式会社アイケイコーポレーション（バイク王）から原動機付き自転車30台の無償貸与（貸与期間1年間）
- ・ダイハツ工業株式会社から軽トラック25台、軽バン25台の寄贈
- ・株式会社セイワから軽自動車3台の寄贈
- ・トヨタ自動車株式会社から普通自動車50台の提供
- ・名古屋市から四輪駆動車42台、生活物資の提供
- ・マツダ株式会社から軽自動車2台の寄贈
- ・プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社から普通自動車13台の寄贈

震災復興・企画部関係情報（4月27日 8時00分現在）

※網掛けが、前回からの変更箇所

1 交通関係

【新幹線】

- ・東北新幹線：東京～仙台間 臨時ダイヤで運転
仙台～一ノ関間（4月29日運転再開見込み）
一ノ関～盛岡間 8往復で運転
盛岡～新青森間 10往復で運転
- ・秋田新幹線：盛岡～秋田間 5往復で運転
- ・山形新幹線：東京～新庄間 東京～山形間15往復、山形～新庄間9往復で運転

【在来線各線】

- ・東北本線：福島～仙台間 ほぼ通常ダイヤで運転
仙台～一ノ関間 ほぼ通常ダイヤで運転（仙台～一ノ関間で臨時快速列車運転）
岩切～利府間 ほぼ通常ダイヤで運転
- ・常磐線：亘理～岩沼間 概ね20分～2時間に1本で運転
- ・仙山線：仙台～山形間 通常ダイヤで運転
- ・仙石線：あおば通～東塩釜間 時間帯により1時間に2～8本で運転
東塩釜～高城町間（5月下旬運転再開見込み）
- ・石巻線：小牛田～前谷地間 13往復で運転
前谷地～石巻間（5月中旬運転再開見込み）
- ・気仙沼線：前谷地～柳津間（4月29日運転再開見込み）
- ・陸羽東線：小牛田～新庄間 通常ダイヤで運転
- ・大船渡線：一ノ関～気仙沼間 通常ダイヤで運転
- ・阿武隈急行線：瀬上～富野間 臨時ダイヤで運転
角田～槻木間 臨時ダイヤで運転
福島～富野間（4月28日運転再開見込み）

【仙台市営地下鉄】

- ・富沢～台原間で運転
※台原～八乙女～泉中央駅、台原～旭ヶ丘～黒松駅 臨時バス運行

【仙台市営バス】

- ・一部路線を除き、通常運行（通常ダイヤ）

【宮城交通バス外】

- ・一部路線を除き、通常運行（通常ダイヤ）
- ・高速バス 通常運行及び臨時運行

【臨時バス】

- ・名取 ～ 美田園間、名取 ～ 仙台空港間 運行
- ・丸森 ～ 角田・仙台間 運行

【JR 代替バス】

- ・東塩釜～石巻間(仙石線代替) 運行
- ・涌谷～石巻間、石巻～女川間(石巻線代替) 運行
- ・涌谷～陸前豊里・柳津間(気仙沼線代替) 運行
- ・亘理～相馬間(常磐線代替) 運行

【離島航路等】

- ・大島汽船：気仙沼～大島(浦ノ浜港)間

フェリー 1日8往復で運航

旅客船 1日5往復で運航

- ・網地島ライン：石巻(工業港)～田代島(仁斗田港)～網地島(網地港)間
1日2往復で運航

- ・塩釜市営汽船：塩竈～桂島～野々島～石浜～寒風沢間 暫定ダイヤで運航
- ・シーパル女川汽船：運航再開見通したたず

《被害状況》

- ・大島汽船：所有船7隻中、2隻沈没、5隻は陸上に乗り上げ、人的被害なし
- ・網地島ライン：船舶被害なし、人的被害なし、社屋損壊
- ・塩釜市営汽船：船舶被害なし、人的被害なし
- ・シーパル女川汽船：船舶被害なし、陸員・船員に行方不明者あり、社屋損壊

2 企画部所管施設関係

大崎市ふるさとプラザ

- ・建物被害は壁のひび割れ、誘導灯等落下、油量計損壊、非常階段、入口扉等
被害額は約600万円。

建物敷地が液状化しており、地盤が50cm沈下し、マンホールが起伏（継続調査中）

3 情報システム関係

石巻、気仙沼、南三陸の3つの合同庁舎で、ネットワーク通信が不通
石巻合同庁舎は、石巻専修大学に機能を移転し、通信可能
(仙台、大崎、大河原、栗原、登米合同庁舎は通信可能)

平成23年4月27日

8時30分現在

環境生活部

※下線は前回からの変更箇所

環境生活部の状況

1 水道関係 (4月26日16:00現在)

(1)被害状況 (未復旧率 約8%)

・給水に支障 (一部断水) のある市町村 (4市町) (別紙資料)
気仙沼市, セツ浜町, 女川町, 南三陸町

・津波等による被害のため沿岸部等の地区が復旧していない市町村 (9市町)
仙台市, 石巻市, 塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 東松島市, 亘理町, 山元町

・復旧済みの市町村 (22市町村)

白石市, 角田市, 登米市, 栗原市, 大崎市, 蔵王町, セツ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 丸森町, 松島町, 利府町, 大和町, 大郷町, 富谷町, 大衡村, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町

(2)応援給水体制

日本水道協会は, 各市町村からの応援給水の要請に基づき, 同協会の各地区から 24 台の給水車等を手配しており, 被災市町村において給水活動を行っている。

2 埋火葬関係

(1)埋火葬関係

①通知等

- ・全国知事会あてに, 火葬の支援を要望 (3月14日発出)
- ・市町村に対し土葬関係の手続きを通知 (3月16日)
- ・市町村に対し埋葬処理の方針及び状況を確認

②燃料手配

- ・延べ17か所に57.4キロリットル手配済

③火葬

- ・県内火葬場及び県外協力火葬場の稼働状況 (受入可能数) を市町村へ提供
- ・火葬代の個人負担免除について市町村へ通知 (3月22日)
- ・東京都内火葬場における火葬受入について, 関係市町に周知 (4月8日)
- ・東京都内火葬場への御遺体の搬送開始 (4月11日)
- ・東京都内火葬場での御遺体の火葬開始 (4月15日)
- ・東京都内で火葬した遺骨の返還開始 (4月27日)

(2)棺等葬祭用品

- ・宮城県葬祭業協同組合, 全日本葬祭業協同組合連合会, 全国霊柩自動車協会に支援要請

3 廃棄物関係

(1)応急処理

- ・環境省より, 災害の予防, 応急対策又は復旧のために必要な野外焼却は, 例外的に認められる回答有 (3月12日)
- ・震災廃棄物処理対策検討チームの設置 (技術次長以下4班体制) (3月14日)

- ・災害廃棄物の処理や燃料調達の円滑化について、国に対し要望（3月17日）
- ・阪神淡路大震災に係る兵庫県廃棄物行政経験者（3人）来県（3月17、18日）
- ・山形県庁や県内外業界団体の支援により、県内のし尿を汲み取り、山形県内で処理中
- ・仮設トイレ搬入完了（6市町に計712基）
- ・鹿児島県環境整備事業協同組合から宮城県生活環境事業協会へバキューム車9台、パッカー車3台、合計12台を無償譲渡。3月26日以降、気仙沼市、多賀城市、石巻市へ順次配備。
- ・被災家電の処理方法を市町村等に対して通知（3月24日）
- ・国より、損壊家屋等の撤去等に関する指針を関係県に通知（3月25日）
- ・災害廃棄物処理の基本方針策定（3月28日）
- ・被災自動車の処理方針策定（3月29日）
- ・宮城県災害廃棄物処理対策協議会を設置（4月13日）
- ・名取市、岩沼市、亶理町及び山元町におけるがれき処理の事務委託の受理（4月15日）

(2) 施設の被害状況

明らかに被害状況が確認されている施設は、次のとおり

- ・亶理名取共立衛生処理組合亶理清掃センター（粗大ゴミ）建物崩壊
- ・仙台市南蒲生環境衛生センター（し尿）全壊
- ・仙台市松森工場（焼却）貯水タンクのひび、配管損傷 他51施設

4 福島第一原子力発電所事故に関する対応

- ・主管課長等連絡会議の設置（3月15日）
- ・相談窓口の設置（3月16日）（4月26日現在の相談累計は3,536件）
- ・原子力安全保安院より原子力立地地域（1道13県）の東京事務所に対し説明会の開催（16日～）
- ・空間放射線モニタリング調査（3月14日から）（4月26日の結果は別紙のとおり）
- ・水道水の放射能測定（3月25日から週1回実施。）
- ・農林畜産物の放射能測定（採取日3月25日、4月11日、4月25日、4月26日の結果は別紙のとおり
（しいたけを追加。））
- ・海水の放射能測定（測定日4月13日）

5 生活関連物資関係

(1) 生活物資供給

- ・県内市町村等からの県への応急生活物資供給の要請に対し、「災害時における応急生活物資供給に関する協定書」（相手方宮城県生活協同組合連合会）に基づき3月12日以降、水・食糧・生活物資等を搬送
- ・主な供給物資
おにぎり、パン、カップメン、バナナ、飲料水、ガスボンベ、オムツ、毛布、肌着等
- ・要請（搬送）先
石巻市、塩竈市、気仙沼市、多賀城市、東松島市、亶理町、七ヶ浜町、加美町、女川町、南三陸町

(2) 「生活関連物資のお知らせ」ホームページを開設（3月16日）

6 ペット関係

- ・緊急災害時被災動物救護本部の設置（※宮城県獣医師会の協力による。）
場所：動物愛護センター
業務：避難動物等の収容場所の確保・救援物資の受入

7 家畜死体の処理関係

- ・被災により発生した家畜死体を処理するため、家畜所有者あるいは市町村等からの申請に基づき、場外埋却を許可

申請許可件数：3月14日大崎市（牛1頭）、涌谷町（牛1頭）、美里町（牛1頭）、3月15日南三陸町（牛30頭）、3月18日大崎市（牛2頭）、3月24日岩沼市（豚200頭）、4月11日石巻市（牛4頭）

8 食品衛生関係

(1)食中毒の未然防止

- ・避難所に対し、食品衛生監視員を派遣し、食品の衛生的な取扱い、加熱処理、食用不適な食品の廃棄、器具・容器等の消毒等について指導
- ・食品衛生監視員を食品の流通集積拠点に派遣し、食品の配送等における衛生確保について指導
- ・弁当提供施設等に対する衛生指導

9 企業等からの支援の動き

- ・三菱自動車工業（株）からEV（i-MiEV（アイミーブ））10台無償貸与の申出有。石巻市、気仙沼市、東松島市、山元町、南三陸町、県地方機関に配備。
- ・日産自動車（株）からEV（LEAF（リーフ））5台無償貸与の申出有。県地方機関（4台）に配備
- ・3月28日、三菱商事（株）からEV（i-MiEV（アイミーブ））6台無償貸与の申出有。女川町（2台）、南三陸町（1台）、県地方機関（3台）に配備
- ・3月28日、（株）オーエスからモバイルソーラーユニット（巻取り型軽量太陽光発電機）とLEDライト10セット無償提供。石巻市に配備済。

10 施設被害額（現在継続調査中）

区分	被害額（暫定）（千円）	備考
環境生活部所管施設	3,880,048	保健環境センター，原子力センター，動物愛護センター，県民会館，慶長使節船ミュージアム 分
水道施設	3,882,057	2,686件判明分
廃棄物処理施設	1,232,184	25施設判明分
計	8,994,289	

11 今後想定される対応

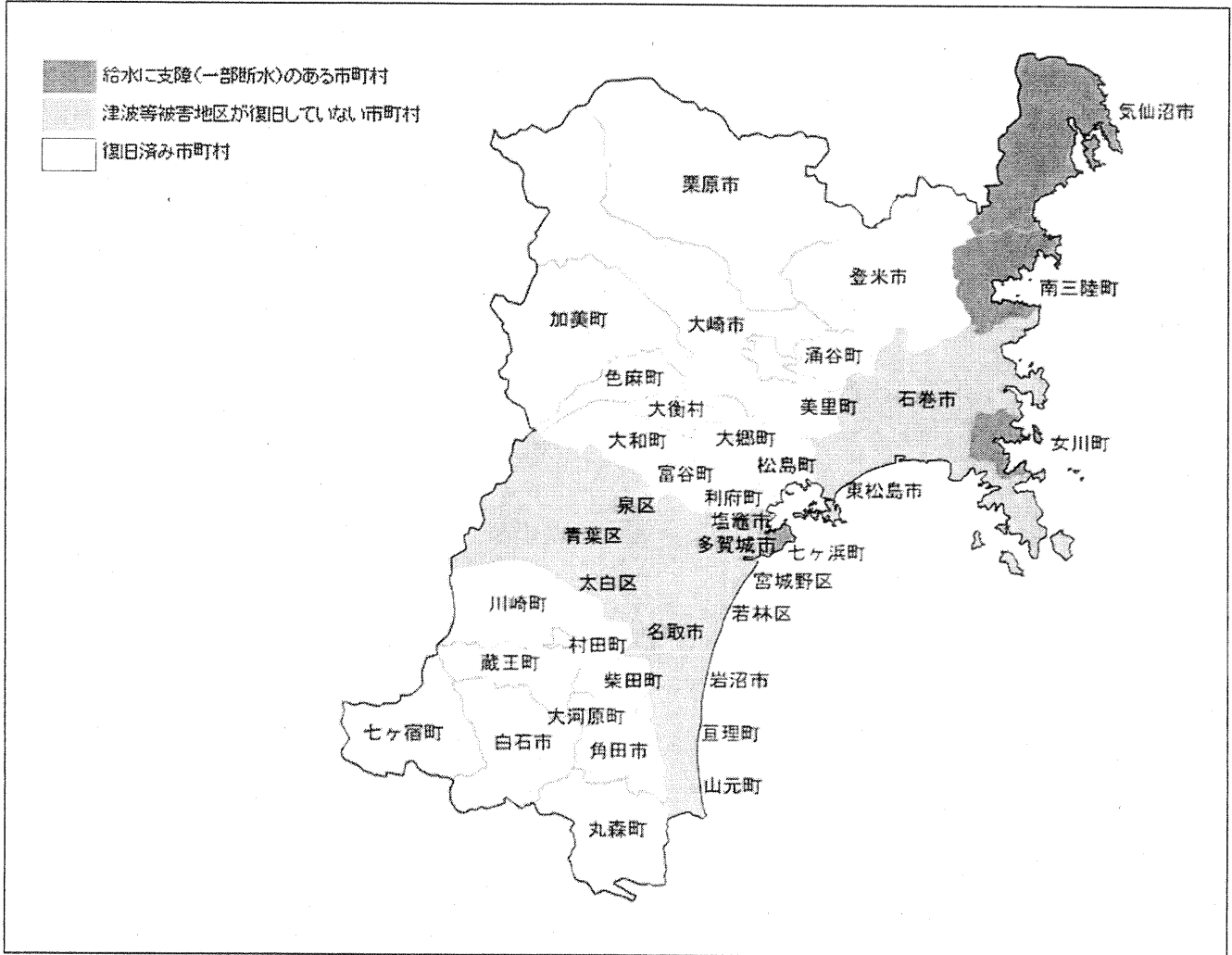
《環境対策課》

- ・水質汚濁防止法に基づく特定事業場からの有害化学物質の流出等の有無の確認（湾岸地域等の一部を除き調査済み。）

《廃棄物対策課》

- ・災害等廃棄物について、市町村と連携した撤去・処理を実施

水道の被害状況 (4月26日 16:00 現在)



福島第一原子力発電所事故に関する相談窓口の相談件数について
(4月26日分)

1 開設日時

開設年月日：平成23年3月16日（水）

開設時間：午前9時から午後5時まで

2 相談件数（直近7日間分）

年 月 日	件 数	累 計
平成23年4月20日（水）	45件 うち 県内 41件 県外 4件	3355件 うち 県内 3058件 県外 297件
平成23年4月21日（木）	44件 うち 県内 40件 県外 4件	3399件 うち 県内 3098件 県外 301件
平成23年4月22日（金）	39件 うち 県内 33件 県外 6件	3438件 うち 県内 3131件 県外 307件
平成23年4月23日（土）	12件 うち 県内 11件 県外 1件	3450件 うち 県内 3142件 県外 308件
平成23年4月24日（日）	10件 うち 県内 10件 県外 0件	3460件 うち 県内 3152件 県外 308件
平成23年4月25日（月）	43件 うち 県内 41件 県外 2件	3503件 うち 県内 3193件 県外 310件
平成23年4月26日（火）	33件 うち 県内 32件 県外 1件	3536件 うち 県内 3225件 県外 311件

3 相談内容の内訳（重複があるため相談件数の合計とは合致しません。）

相 談 内 容	件数（本日分）	件数（累計）
避難について	0件	99件
被ばく・除染・安全性について	20件	2056件
測定結果について	7件	1110件
その他	8件	731件

4 本日の主な相談内容

- ・ 安全性について。
- ・ 子供を外で遊ばせて良いか。
- ・ 母乳の測定を行ってほしい。

福島第一原子力発電所事故対応に係るモニタリング結果について

環境生活部原子力安全対策室
平成23年4月26日

- 1 測定日：平成23年4月26日
2 測定結果

(1) 県南東部方面

測定装置：モニタリングカー

単位： μ Sv/h

測定地点	測定時間	測定値
仙台市 東北電力本店ビル駐車場	9:53 ~ 10:03	0.09
山元町 山元町役場付近	11:28 ~ 11:38	0.13
丸森町 丸森町役場付近	12:15 ~ 12:25	0.26
角田市 角田市役所付近	12:52 ~ 13:02	0.23
亘理町 亘理消防署付近	14:11 ~ 14:21	0.17

(2) 県南西部方面

測定装置：サーベイメータ（地上）

単位： μ Sv/h

測定地点	測定時間	測定値
七ヶ宿町 七ヶ宿町役場付近	10:35 ~ 10:45	0.17
白石市 東北電力白石営業所	11:22 ~ 11:32	0.19
大河原町 大河原町役場付近	11:57 ~ 12:07	0.17
岩沼市 東北電力岩沼営業所	13:00 ~ 13:10	0.13
名取市 名取市役所付近	13:26 ~ 13:36	0.13

(3) 仙台市

測定装置：可搬型モニタリングポスト

測定地点：宮城県庁屋上（仙台市青葉区）

単位： μ Sv/h

測定期間	平均値	最大値	最小値
H23.4.25 18:00 ～ H23.4.26 17:00	0.075	0.078	0.073

(4) その他

最大値（0.26 μ Sv/h）が10日間継続しても屋内退避の基準（10,000 μ Sv）の約160分の1

※ ホームページ URL：<http://www.pref.miyagi.jp/gentai/Press/PressH230315.html>

宮城県内の農林畜産物の放射能測定結果について

平成23年4月27日
環境生活部原子力安全対策室
農林水産部農産園芸環境課
農林水産部畜産課
農林水産部林業振興課

宮城県内で採取した農林畜産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射能測定を実施したので、その結果をお知らせします。

記

1 採取及び測定年月日

平成23年4月25日又は26日

2 測定分析機関

東北大学（東北大学への協力依頼による）

3 測定結果

全ての農林畜産物について飲食制限に関する指標値を下回り、安全性に問題ないことが確認されました。

なお、測定した結果は以下のとおりです。

(1) 原乳（採取日及び測定日 26日）

○放射性ヨウ素

(単位：Bq/kg)

種別	採取場所	放射性ヨウ素	食品衛生法に基づく乳児の飲用に関する暫定的な指標値	原子力安全委員会が定めた飲食物摂取制限に関する指標値
原乳	仙南クーラーステーション (白石市)	不検出	100	300
	仙北クーラーステーション (登米市)	不検出		
	岩出山集乳所 (大崎市)	1.29		

○放射性セシウム

(単位：Bq/kg)

種別	採取場所	放射性セシウム	原子力安全委員会が定めた飲食物制限に関する指標値
原乳	仙南クーラーステーション (白石市)	不検出	200
	仙北クーラーステーション (登米市)	不検出	
	岩出山集乳所 (大崎市)	6.20	

(2) 葉菜及びきのこ (採取日及び測定日 25日)

○放射性ヨウ素

(単位: Bq/kg)

種別	採取場所	放射性ヨウ素	原子力安全委員会が定めた 飲食物摂取制限に関する指標値
ほうれんそう	丸森町 (露地)	30.2	2,000
	角田市 (露地)	5.0	
	白石市 (ハウス)	不検出	
	村田町 (露地)	6.7	
	利府町 (ハウス)	9.0	
	大衡村 (ハウス)	6.1	
	大和町 (ハウス)	8.6	
	大崎市 (ハウス)	3.4	
	大崎市 (ハウス)	不検出	
	加美町 (ハウス)	9.7	
	栗原市 (ハウス)	5.4	
みずな	山元町 (ハウス)	4.9	
原木しいたけ	白石市 (露地)	7.2	
	丸森町 (露地)	不検出	
	角田市 (露地)	5.0	

○放射性セシウム

(単位: Bq/kg)

種別	採取場所	放射性セシウム	原子力安全委員会が定めた 飲食物摂取制限に関する指標値
ほうれんそう	丸森町 (露地)	126.3	500
	角田市 (露地)	58.3	
	白石市 (ハウス)	不検出	
	村田町 (露地)	3.8	
	利府町 (ハウス)	6.4	
	大衡村 (ハウス)	不検出	
	大和町 (ハウス)	不検出	
	大崎市 (ハウス)	不検出	
	大崎市 (ハウス)	不検出	
	加美町 (ハウス)	不検出	
	栗原市 (ハウス)	3.5	
みずな	山元町 (ハウス)	14.2	
原木しいたけ	白石市 (露地)	155.8	
	丸森町 (露地)	96.6	
	角田市 (露地)	17.0	

<担当・連絡先>

放射能・放射線及びその測定に関すること	環境生活部原子力安全対策室安全対策班 担当 榎野, 伊藤 連絡先 内線2607
原乳の採取場所, 流通等に関すること	農林水産部畜産課企画管理班 担当 山田, 曾根 連絡先 内線2851
野菜の採取品目, 場所, 流通等に関すること	農林水産部農産園芸環境課環境対策班 担当 大内, 小野寺 連絡先 内線2845
きのこの採取場所, 流通等に関すること	農林水産部林業振興課地域林業振興班 担当 三浦, 千葉 連絡先 内線2914

保健福祉部対応状況等について

※下線部が前回からの変更箇所

1 福祉施設の被災状況等

① 福祉（入所）施設の人的被害状況

種 別	入所者		職 員（里親含む）		備 考
	死 者	行方不明	死 者	行方不明	
高齢者福祉施設	207	81	33	64	
障害者福祉施設	0	0	0	0	
児童母子福祉施設	34	24	4	4	
合 計	241	105	37	68	

② 福祉施設等の被害額

種 別	被害額（千円）	備 考
県 有 施 設	138,219	継続調査中
県立社会福祉施設	230,337	継続調査中
民間等社会福祉施設	9,333,640	継続調査中
医 療 機 関 等	16,964,930	継続調査中
地方独立行政法人 宮城県立病院機構	409,000	継続調査中
合 計	27,076,126	継続調査中

③ 被災者受入調整

- ・ 高齢者福祉施設：14か所及び在宅被災者5市2町 31名 計319名＝県内166名 県外153名
厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 確定9,640施設 35,557人
(県内の高齢者施設に対して、最低限定員1割超の受け入れを要請(3/29))
- ・ 障害者福祉施設：厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 暫定2,798施設 8,756人
- ・ 児童母子福祉施設：厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 暫定2,393施設 7,148人
- ・ 精神科病院：3病院 計300名（県内38医療機関等に223名、自宅退院28名、
県外10医療機関に49名）

④ 震災孤児の状況

- ・ 震災孤児数 55人（親戚等による保護53人、児童福祉施設入所2人）

⑤ 支援活動の状況

■介護支援関係

- ・ 厚労省 全都道府県の被災地への介護職員等派遣に関する調査 4,930人（4/7現在）
- ・ 県介護福祉士会が石巻・女川の避難所で介護支援活動（3/19～）
- ・ 宮城大学（4名）が石巻の避難所で介護支援活動（3/19）
- ・ NPO全国コミュニティライフサポートセンター（16人）が石巻市内と女川町内の避難所で介護支援、介護物資等搬送支援（3/22～）
- ・ 県ケアマネジャー協会に、居宅・避難所の要介護者への対応に係る協力を要請（各保健福祉事務所に協会各支部の連絡先を情報提供）（3/22）
- ・ 厚生労働省に、避難所における介護職員の派遣を要請（3/23）
- ・ 避難所における介護等の提供調整事務局設置（3/25～ 構成：県、ケアマネジャー協会、県介護福祉士会）
- ・ 他県からの介護職員（群馬県、秋田県、徳島県、東京都、石川県）が避難所で介護支援活動
- ・ 日本介護福祉士会、日本介護支援専門員協会が被災地での介護支援活動（3/26～）
- ・ 県社会福祉士会が石巻市牡鹿総合支所にて相談業務をサポート（4/18～）

■要保護児童支援

- ・厚労省 児童福祉関係職員派遣可能数調査 保育士・児童福祉司等 389人(児童相談所等派遣)
- ・厚労省 介護職員等派遣可能数調査 保育士・児童指導員等 1,144人(社会福祉施設等派遣)
- ・厚労省に対し、要保護児童対応のための児童福祉司、児童心理司派遣を要請し、中央・東部児童相談所及び同気仙沼支所管内で活動中(4/5～)……………【別紙】
1府2県4市の7チーム(4/25～5/1)。継続派遣について、厚生労働省に要請中

■障害者支援関係

- ・障害福祉施設関係施設の介護支援活動 全国知的障害者福祉協会が3施設で介護支援
- ・手話通訳の派遣 北海道等14機関から石巻市、東松島市等沿岸5市町で支援
- ・各障害者団体が現地災害対策本部を設置し、障害者福祉施設や障害者に対して支援活動
- ・海上自衛隊臨床心理士の派遣を受け、精神保健福祉センターにおいて活動予定(4/25～5/30)
- ・日本相談支援専門員協会による相談支援専門員派遣の受入(5月開始予定)
- ・本田技研工業(株)より相談支援事業所等に対する車両7台の無償貸与(6ヶ月間:10月末まで)

2 災害時医療の状況等

① 県内の医療機関の受診対応状況

■宮城県HP <http://www.pref.miyagi.jp/iryuu/H23jishin/iryookikan.htm> 【随時更新中】

② 災害医療活動

■県災害医療コーディネーターと連携し、D-MAT(災害派遣医療チーム)120チームが急性期対応(3/11～)

- ・国立仙台医療センター(基幹災害拠点病院)を中心に、災害拠点病院等と連携して急性期の患者受け入れ、搬送に対応
- ・霞の目に拠点(SCU)を置き、気仙沼、石巻等からの患者搬送など広範な活動を展開

■災害医療対策本部設置(3/15～)

- ・救護活動の的確かつ迅速な活動への連携強化を図るため、宮城県災害医療コーディネーター、県医師会、日赤、自衛隊・県関係課室・仙台市を構成メンバーとする会議を開催

■避難所等の保健福祉活動に係る意見交換

- ・各保健所長からの状況報告、部内各課の対策状況の報告を基に災害医療コーディネーター、災害保健医療アドバイザー等の指導の下、今後の方針等を協議(3/30)

■透析患者の搬送(3/22～23)

- ・搬送コーディネーターを通じ、気仙沼市78人、多賀城市、仙台近辺数名を千歳・恵庭の透析施設に防衛省輸送機により搬送

■災害対策基本法に基づく医師等応援派遣要請(3/17～)……………【別紙】

- ・医療救護班105チームが石巻市、塩竈市、女川町、南三陸町、気仙沼市等で避難住民の診療・健康相談等に従事

■災害対策基本法に基づく保健師派遣要請(3/14～)……………【別紙】

- ・24都道県14市町1大学64チームが岩沼市、山元町、石巻市、気仙沼市、南三陸町等の避難所等で活動。継続派遣について、厚生労働省に要請(4/12)
- ・上記(宮城県要請分)のほか、仙台市分として9チーム活動中

■災害対策基本法に基づく心のケアチーム派遣要請(3/17～)……………【別紙】

- ・16都道県1市11医療機関(国立3、大学8)28チーム(予定含む)が南三陸町、岩沼支所管内、石巻市、気仙沼市等で活動

■日本看護協会等からの看護師派遣(3/22～)

- ・県外病院及び県内健診団体の看護師75名が気仙沼市、塩竈市、山元町、石巻市、東松島市、女川町、南三陸町の避難所にて活動(予定を含む)。継続派遣について、日本看護協会、厚生労働省に要請(4/14、4/21)

■歯科保健医療対策(災害時の歯科応急処置)(3/21～)

- ・宮城県歯科医師会 「災害時の歯科医療救護に関する協定書」に基づき、応急処置を行う歯科医療救護班を派遣。派遣先:石巻市、亘理町、南三陸町、山元町等 計延べ435人
- ・厚生労働省を通じて歯科医師34人(4/11～)、移動歯科診療車3台(4/3～)が派遣され、石巻市、南三陸町、山元町、気仙沼市等で、避難住民の歯科応急処置等に従事
- ・メーカーから歯ブラシ6,000本、歯磨き粉1,800本を支援物資として確保。山元町、亘理町、岩沼市、名取市に配送

■OT, PT派遣

- ・リハビリテーション支援センターのリハ職3人が石巻市の3避難所の状況調査を実施(3/22)
- ・県作業療法士会, 県理学療法士会が避難所において支援活動を実施(3/24~4/10)
延べ51名が石巻市, 岩沼保健所管内で環境調整や運動指導, 杖の調整・提供等の活動を展開

■薬剤師(県内・秋田・北海道・東京等 2人/組 25組 3/17~)

- ・避難所での服薬指導, 災害拠点病院, 救護所等での調剤, 医薬品管理等に従事中

■感染症対策(避難所及び被災地における感染症の発生予防対策及びまん延防止対策)

- ・東北大学の指導の下, インフルエンザ等の感染予防・蔓延防止のため, 避難所向けの注意喚起の掲示用資料と指導マニュアルを配布
- ・保健所を通じて, 手指消毒薬やマスク等の衛生資材を避難所に配布(3/18~)
- ・押谷東北大学教授他による避難所における巡回調査及び指導(3/23~)

■エコノミークラス症候群予防のための活動

- ・日本血栓止血学会による避難所での巡回活動実施(3/26~4/10)
- ・東北大学病院を通じ, メーカーから弾性ストッキング1,000足の支援物資を確保。保健所を通して避難所で配布

③ 医薬品供給等(医薬品が不足する状況にはない)

■医療用医薬品(医師の処方による調剤薬等)

- ・災害拠点病院(救護活動), 救護所
→病院及び救護所が卸売業者に発注→医療救護班へ
- ・病院, 一般診療所
→医療機関の発注に基づき卸売業者が医療機関あて配送

■一般用医薬品(市販薬・消毒薬・うがい薬・衛生資材等)

- ・国, 他県等からの支援医薬品→宮城県公務研修所(ロビー, 空き教室)に集積
→宮城県薬剤師会, 宮城県医師会が直接手配し, 受領したものは各団体において各避難所等へ

④ 栄養支援活動

■栄養補助食品の支援

- ・(財)日本健康・栄養食品協会を通じ, 濃厚流動食22万食をメーカー各社の支援物資として提供
- ・アレルギー対応乳児用粉ミルク, 嚥下補助剤についてメーカー各社から支援物資として提供
- ・給食施設支援として病院・高齢者介護福祉施設に対する無洗米, 栄養補助食品を提供
- ・市町村からの要請により, ベビーフード2万食についてメーカー各社から支援物資として確保
沿岸部の市町に優先的に配送
- ・総合的なビタミン, ミネラル補給のサプリメントを被災市町に配送
- ・(財)日本健康・栄養食品協会に対し, 微量栄養素補給, 消化機能の弱った方のためのサプリメントの被災市町への直接配送

■避難所等における栄養ケア

- ・「避難所における食事状況・栄養関連ニーズのアセスメント」を沿岸部(気仙沼, 石巻, 塩釜保健所管内)の全避難所で実施(4/1~4/12)
- ・332か所の避難所で栄養アセスメントを実施済(4/1~4/12)。調査の結果, エネルギー不足の避難所が約9割, たんぱく質不足, ビタミン不足は約8割
- ・災害対策基本法に基づき, 5県1市の管理栄養士が石巻市, 南三陸町, 亶理町で避難住民の栄養改善活動に従事(3/31~4/19 従事人員:延べ91人)
- ・社団法人宮城県栄養士会の管理栄養士が, 3市1町で栄養・食生活支援に協力(4/5~4/19 協力人員:延べ44人)

3 災害ボランティア活動

■宮城県災害ボランティアセンターを宮城県社会福祉会館内に設置(3/12~), 宮城県自治会館に移転(3/29~)

■知事の要請に対応し, 内閣府に震災ボランティア連携室設置(3/16) 県・県内関係者と協議(3/17)

■市町村災害ボランティアセンター活動状況(宮城県災害ボランティアセンター調べ)

【4/25 18:00 現在】設置数:9市9町 22ヶ所 活動ボランティア数:1,799人

4 応急仮設住宅関係

■県土木部と県保健福祉部にて対応

- ・第1弾として仮設住宅1万戸の確保を(社)プレハブ建築協会に要請(3/14)
- ・宮城県と(社)プレハブ建築協会により応急仮設住宅建設用地調査(3/17~)
- ・公営住宅, 民間賃貸住宅の物件リスト調査提供中
- ・市町村説明会実施 沿岸市町には出向いて説明(3/22~24)
- ・応急仮設住宅の建設戸数を2万戸追加し, 3万戸確保することを決定(4/1)
- ・度重なる余震による地割れ発生のため, 一部建設中止(2市町 211戸)(4/13)
- ・応急仮設住宅第1次から第4次分13市町全て着工済み
- ・応急仮設住宅の提供事務の一部を市町村に委任(4/19)
- ・応急仮設住宅第5次着工予定表を公表(15市町 2,200戸)(4/23)
- ・第一陣として8市5町(1,312戸)の応急仮設住宅完成, 入居開始(4/28)

5 その他の被災者救済・援護

- ・宮城県に寄せられた義援金 144,292件 9,743,449,027円(4/22現在)
宮城県災害義援金配分委員会設置(4/8)。第一回配分委員会4/13開催。
中央の「義援金配分割合決定委員会」から示された配分基準に基づき県の一次配分の配分額を決定。市町村説明会開催(4/18)
- ・生活福祉資金(緊急小口資金)貸付について, 4/15現在, 県内市町村社協で申込み窓口設置済み。
- ・国保・後期高齢者医療等の窓口一部負担金及び保険料の減免, 支払い猶予について市町村へ通知
- ・児童扶養手当・母子寡婦資金等の特別措置等
- ・介護保険制度上の柔軟な対応について, 市町村及び介護事業者に周知
(被災者等の利用者負担と保険料の減免等, 介護施設等の定員超過, 要介護認定等に関する特例)
- ・児童福祉施設における定員超過措置等の柔軟対応について各施設に周知
- ・妊婦健康診査の居住市町村以外での柔軟対応について各市町村に通知
- ・障害者自立支援制度上の柔軟な対応について, 市町村及び障害福祉サービス事業所等に周知
(利用者負担の徴収猶予, 支給決定・障害程度区分の認定の有効期間の延長等)
- ・被災に伴う国民健康保険等の被保険者等への支援について3県(岩手県, 宮城県, 福島県)で厚労省へ要望(3/22)
- ・被災に伴う後期高齢者医療制度に対する財政支援について, 後期高齢者医療広域連合で厚労省へ要望(3/28)
- ・被災に伴う国民健康保険の有効期限が満了する被保険者証の取扱いについて, 3県(岩手県, 宮城県, 福島県)で厚労省へ要望(3/30)

6 その他

- ・職員安否 子ども総合センター職員1名死亡(3/18確認)
気仙沼保健福祉事務所非常勤職員1名死亡(4/16確認)
 - ・被災公所 仙台保健福祉事務所→原則として現在の庁舎を使用(一部業務は仙台合同庁舎に移転)
東部保健福祉事務所・東部児童相談所→石巻専修大学体育館内に移転(4/18~)
 - ・公用車の提供 広島県を通してマツダ(株)より車両提供の申し出
宮城県対がん協会より避難所への医薬品輸送車両の提供及びその運行(3/26~)
結核予防会宮城県支部より避難所での感染症対策巡回調査用車両の提供(3/23~)
 - ・日本赤十字社による被災者支援(4/6)
- ①応急仮設住宅に入居される全世帯に対する生活家電セット(6点:洗濯機, 冷蔵庫, テレビ, 炊飯器, 電子レンジ, 電気ポット)の配備
 - ②定員を超えて受け入れを行っている介護施設における介護用ベッドの配備
 - ③被災市町村, 被災社会福祉施設等の車両の配備

7 地方独立行政法人宮城県立病院機構

別添のとおり。

記者発表資料 平成23年4月26日 保健福祉総務課 災害救助法対応チーム 担当 武者 内線 3257

応急仮設住宅（プレハブ住宅）の完成及び入居について

応急仮設住宅（プレハブ住宅）につきましては、4月28日に、県内初の入居が塩釜市内の
応急仮設住宅で行われますので、お知らせします。

なお、4月28日には、第一陣として8市5町（1,312戸）の応急仮設住宅が完成します。

記

1. 入居日時 平成23年4月28日（木） 午後2時から
2. 場 所 塩釜市伊保石 伊保石ステーション（60戸）

県内における医療救護班活動状況

2011/4/26 現在

医療整備課

市町村名	派遣期間	派遣元(チーム数)	活動内容	体制
気仙沼市	3/17 ~	○東京都、神奈川県、奈良県、愛知県、北海道、徳洲会病院、国家公務員共済組合連合会 ほか (16) ●自衛隊 (1) ●大学関係 (4) ●日本医師会(J-MAT) (1) 合計22チーム	①救護所(K-wabelほか)の救護活動 ②避難所の巡回診療 ③病院支援(市立病院、本吉病院)	県災害医療コーディネーター(気仙沼市立病院 成田医師)が受入・活動を調整
南三陸町	3/17 ~	○兵庫県、神奈川県、群馬県、愛知県、高知県、山梨県、香川県、長崎県、徳洲会病院、HuMA、AMDA、セコム ほか (14) ●大学関係 (1) ●国境なき医師団 (2) 小計17チーム	①救護所(バイサイドアリーナほか)の救護活動 ②避難所の巡回診療	県災害医療コーディネーター(公立志津川病院 西澤医師)が受入・活動を調整
石巻市	3/17 ~	○兵庫県、徳島県、長野県、愛媛県、石川県、新潟県、厚生年金事業団、HuMA ほか (15) ●自衛隊 (1) ●大学関係 (6) ●赤十字病院関係 (12) ●日本医師会(J-MAT) (5) 小計39チーム	①救護所(石巻専修大ほか)の救護活動 ②避難所の巡回診療 ③病院支援(石巻赤十字病院)	県災害医療コーディネーター(石巻赤十字病院 石井医師)が受入・活動を調整
東松島市	3/20 ~	○国立病院機構、国立国際医療研究センター (2) ●自衛隊 (1) ●赤十字病院関係 (1) 小計4チーム	①避難所の巡回診療	
女川町	3/19 ~	○鳥取県 (1) 小計1チーム	①避難所の巡回診療	
多賀城市		医療救護班の派遣なし	坂総合病院が避難所を巡回して診療	
塩竈市	3/20 ~	●自衛隊(1) ●日本医師会(J-MAT) (10) 小計11チーム	①避難所の巡回診療 ②病院支援(坂総合病院)	県(保健所・医療整備課)、市町担当課で受入・活動を調整
七ヶ浜町	3/20 ~	○島根県 (1) ●日本医師会(J-MAT) (2) 小計3チーム	①避難所の巡回診療	
松島町	3/21~29	医療救護班の派遣終了	町内避難所の巡回診療を3月29日まで実施 現在は地元医療機関において診療対応	
仙台市		医療救護班の派遣終了	①救護所(高砂中ほか)の救護活動 ②地元医師会が避難所を巡回して診療	
岩沼市	3/21~4/2	医療救護班の派遣終了	市内避難所で医療救護所を4月2日まで開設 現在は地元医療機関において診療対応	
名取市		医療救護班の派遣なし	地元医師会が避難所を巡回して診療	県(保健所・医療整備課)、市町担当課で受入・活動を調整
亶理町	3/19~	○福井県、岐阜県 (2) 小計2チーム	①救護所(亶理高校ほか)の救護活動 ②避難所の巡回診療	
山元町	3/17~	○国立病院機構 (1) ●自衛隊 (1) 小計2チーム	①救護所(山下中学校)の救護活動 ②避難所の巡回診療	
登米市	3/17~	○栃木県 (4) 小計4チーム	①病院支援(米谷病院)	市担当課と県医療整備課で派遣受入を調整

※派遣元(チーム数)欄の記載について

○=県依頼・調整分、●=県依頼・調整分以外
カッコ内の数字は派遣チーム数

県依頼・調整分 53チーム、自衛隊 5チーム、大学関係 12チーム、日赤関係16チーム、J-MAT 18チーム、その他 2チーム 合計105チーム

地方独立行政法人宮城県立病院機構

1 医師等被災地派遣状況

<p>循環器・呼吸器病センター 栗原市瀬峰根岸55-2 0228-38-3152～3</p>	<p>精神医療センター 名取市手倉田字山無番地 022-384-4534</p>	<p>がんセンター 名取市愛島塩手字野田山47-1 022-384-4711</p>
<p>3/12から ■ 県内の避難所へ医療支援チーム派遣 3/12 栗原市 3/13 栗原市 3/14 登米市 3/15 栗原市 3/16 登米市 3/17 気仙沼市 3/18 南三陸町 3/19 南三陸町 3/20 石巻市、登米市 3/22 東松島市 3/23 東松島市 3/24 南三陸町 3/25 登米市 3/26 名取市、岩沼市、亶理町、山元町 3/27 石巻市 4/3 石巻市</p>	<p>3/15 ■ 避難所等からの外来・入院受入 外来者110名(うち入院23名) 3/21現在</p> <p>3/16・17 ■ 南浜中央病院の患者20名受入</p>	<p>3/13 ■ 名取市の各避難所へ医療支援チーム派遣開始 (3/25終了)</p> <p>3/14 ■ 名取市休日夜間急患センターへ医療支援チーム派遣開始 (3/25終了)</p> <p>■ 増田小学校で検死業務を開始 (3/14, 15実施)</p>
<p>3/21 ■ 在宅酸素療法中の患者受入開始 3/21 3名 3/22 3名 3/23 5名 3/24 5名 3/25 4名 3/28 1名</p>		<p>3/19 ■ 医師及び放射線技師を東北大学病院へ派遣開始 (3/21終了)</p>

東日本大震災

経済商工観光部所管施設等の状況（4月27日 10:00現在）

第64報

1 経済商工観光部関係被害額

・工業関係	5,900億円（推計値 調査中）
・商業関係	1,200億円（推計値 調査中）
・観光施設被害	200億円（推計値 調査中）
・部内所管施設	20億円（調査中）
計	7,320億円

2 所管施設の状況

施設名	概況
産業技術総合センター	外壁にクラックあり
高等技術専門学校(白石)	設備の配管にズレ、壁・床にひび割れ
〃 (仙台)	体育館の壁面落下、配管から漏水、通路変形
〃 (大崎)	本館基礎のひび割れ、段差、機材の落下
〃 (石巻)	床上浸水被害、実習棟建物のゆがみ
〃 (気仙沼)	ガラス破損、壁の軽微なひび割れ
宮城障害者職業訓練校	窓ガラス、消火栓配管破損、通路天井一部落下
松島公園管理事務所	事務所水没、レストハウスガラス全損、県営駐車場水没
宮城海外研修員会館	外壁亀裂、タイル落下等
夢メッセ	1階部分水没、車両が流れ込むなどの被害
ガレージファクトリー名取	ガラス破損等
商工振興センター	天井のズレ、外壁タイル剥離

3 新たに講じた支援策等

- 「中小企業経営安定資金・災害復旧対策資金（東日本大震災災害対策枠）」の創設
（取扱期間：平成23年4月1日から平成23年9月9日（融資実行分）まで）
- 東日本大震災による内定取消者への県立高等技術専門校の追加募集
（募集期間：平成23年4月15日から平成23年4月22日まで）
- 東日本大震災の被災者に対する県立高等技術専門学校入学金等の免除
（実施期間：平成23年4月15日から平成24年3月31日まで）
- 「復興へ 頑張ろう！みやぎ」ロゴマークの作成（平成23年4月15日から）
- 県内企業が製造する工業製品の残留放射能測定に係る技術支援の実施
（支援機関：平成23年4月18日から平成23年6月末日（暫定）まで）
- 雇用創出基金事業を活用した緊急的な雇用の創出

4 その他の状況

○企業等からの支援

アイリスオーヤマ(株), 朝日ヶ丘運輸(株), EGL tours, 出光興産(株), NECトーキン(株)仙台事業所, NPO災害ボランティア福井, グンゼ(株), ケルヒヤージャパン(株), 小林製薬(株), JX日鉱日石エネルギー(株), (株)JTB, スクール・エイド・ジャパン, 住友商事東北(株), (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン, 積水ハウス(株), セントラル自動車(株), ダイハツ工業(株), 宝ホールディングス(株), 東京エレクトロン(株), 東洋ゴム工業(株), トヨタ自動車(株), トヨタ紡織(株), (株)ニッセン, 日東電工(株), GE, フジパングループ本社(株), 三井物産(株), 三菱商事(株), リコー(株), 他

○海外からの支援

イラン, インド, ウズベキスタン, キルギス, タイ, 大韓民国, パキスタン, フィリピン, フランス, マレーシア, ロシア, 吉林省, 在日英国大使館, 香港経済貿易代表部, WFP (国連世界食糧計画), 中華民国工商協進会 他

東日本大震災 農林水産部関係対応状況

(前回からの変更部分にアンダーライン)

1 激甚災害の指定（政令公布 平成23年3月13日）

- ・ 農地等は復旧費の8～9割、養殖施設は復旧費の9割の補助見込み。

2 農林水産関係被害の状況

別紙「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況について（第22報）」にとりまとめており、現時点の被害額は、約9,372億円（うち、津波被害額は約9,162億円）となっている。概況は以下のとおりである。

(1) 農業関連

① 農地・農業用施設

- ・ 用排水機場等の損壊、農地の浸水等。被害額は約3,592億円。

② 農業関係施設

- ・ 園芸施設、乾燥施設、農業倉庫等の損壊等。被害額は約315億円。

③ 農業用資機材

- ・ トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機等の被害。被害額は約435億円。

④ 農作物等

- ・ いちご、野菜類、米、大豆等が浸水等の被害。被害額は約66億円。

⑤ 生活環境施設

- ・ 集落排水施設の損壊等。被害額は約128億円。

⑥ 農地海岸保全施設

- ・ 海岸防潮堤等の損壊。被害額は約205億円。

(2) 畜産関連

① 畜産施設等

- ・ 畜舎等の損壊。被害額は約29億円。

② 家畜等

- ・ 乳牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー等の餓死、水死等。被害額は約7億円。

③ 畜産品等

- ・ 生乳等の出荷停止。被害額は約9億円。

(3) 林業関連

① 林道施設

- ・ 林道の舗装亀裂、法面崩壊等。被害額は約5億円。

② 林地

- ・ 海岸部の保安林の流出、倒伏、林野火災等。被害額は約49億円。

③ 治山施設

- ・ 海岸防潮堤等の損壊。被害額は約142億円。

④ 林産被害

- ・ 合板製造施設、製材所等の損壊等。被害額は約369億円。

(4) 水産業関連

① 水産施設

- ・ 共同利用施設、流通加工施設等の損壊等。被害額は約223億円。

② 漁港施設

- ・ 漁港施設の損壊等。被害額は約1,875億円。

③ 漁船等

- ・ 20 t 未満の漁船（12,005隻）の大破、滅失等。被害額は約1,022億円。
- ・ 20 t 以上の漁船（18隻）の大破等。被害額は約107億円。

④ 養殖施設

- ・ 養殖施設の損壊、滅失。被害額は約187億円。

⑤ 水産物等

- ・ ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ等の流失等。被害額は約332億円。

⑥ 漁業用資材

- ・ 定置網、養殖用資機材（乾燥機等）の損壊、滅失。被害額は約190億円。

(5) その他（県所管施設等）

- ・ 水産技術総合センター等13機関、漁業取締船等6隻の損壊・滅失等。被害額は約86億円。

3 県の対応状況

(1) 支援物資の要請

- ・ 支援物資（食料等）の提供申出の受付及び配分調整。

(2) 農林水産関係団体

- ・ 県漁業協同組合は、浅海域における操業を当面の間自粛することを決定。
4/12開催の海区漁業調整委員会において、5/31までの操業停止指示を発動。

(3) 排水対策

- ・ 仙台東部、名取、亘理等各地域の浸水対策は、ポンプ車等による排水を実施中。

(4) 農業用排水路等の廃棄物処理

- ・ 農業用排水路等の災害廃棄物の処理に着手。亘理町と山元町で試験的撤去を開始。

(5) 下水道対応

- ・ 阿武隈川下流域下水道・仙塩浄化センターの対応について、県漁協と調整済み。

(6) 無線局の状況

- ・ 本県漁業無線局は機能停止。災害時の業務協定に基づき青森県の無線局が対応中。

(7) 水産庁関係

- ・ 調査船等が、各被災地へ物資陸揚げ。

(8) 民間船関係

- ・ 巻き網船等が、各被災地へ物資陸揚げ。

(9) 漁港の航路確保

- ・ 気仙沼、志津川、石巻、女川、塩釜の5漁港で開港済み。

(10) 農林水産省関係

- ・ 農林水産被害額の算定（査定）の対応等について、農林水産省と協議。
- ・ 農林水産大臣が来県（4/2）し、被災地視察と関係者会談。

(11) 水田の作付調整

- ・ 津波による被害を踏まえ、平成23年度の水稲作付方針を策定。

(12) 東日本大震災早期営農再開支援センターの設置

- ・ 被災農業者に対して総合的支援を行うためのワンストップ窓口を開設。

(13) 冷凍・冷蔵庫保管物の海洋投入処分

- ・ 4/7に官報告示され、4/11から搬出・積込・投入作業を開始。
- ・ 海洋投入ができない梱包水産物は、山形県の産廃処分場に4/26から搬出。

(14) 海底の状況調査

- ・ サイドスキャンソナーを利用して、海底堆積物（瓦礫等）の状況調査を実施。
4/26から女川で開始し、他海域においても順次実施する予定。

平成23年4月27日 9時現在
農 林 水 産 部

東日本大震災による被害状況について(第22報)

1 農林水産関係被害額

(1) 農業関連被害額 計	<u>474,036,609</u> 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(458,812,664)</u> 千円	[調査中]
(2) 畜産業関連被害額 計	<u>4,558,007</u> 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(1,334,929)</u> 千円	[調査中]
(3) 林業関連被害額 計	56,458,624 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(55,021,083) 千円	[調査中]
(4) 水産業関連被害額 計	393,570,000 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(392,570,000) 千円	[調査中]
(5) その他(県所管施設) 計	<u>8,607,404</u> 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(8,500,000)</u> 千円	[調査中]
合 計	<u>937,230,644</u> 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(916,238,676)</u> 千円	[調査中]

* 前回からの変更部分にアンダーラインをしています。

2 農林水産関係被害額の概要

【被害種別】	【関係市町村】	【箇所数等】	【被害内訳】	【被害額】
(1) 農業関連被害				
① 農地・農業用施設被害	県内全ての市町村 (仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、	2,406箇所 (104箇所)	用排水路・農道等の損壊 (用排水機場等の損壊、農地浸水12,758ha等)	359,217,312千円 [調査中] (354,740,000千円) [調査中]
② 農業関係施設被害	賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、	22,394箇所 (22,050箇所)	農業倉庫・カントリーエレベーター等の損壊 (園芸施設等の損壊)	31,519,924千円 [調査中] (28,524,751千円) [調査中]
③ 農業用資機材被害	石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町)	14,162台 (14,160台)	トラクター、刈り払い機、田植機、乾燥機 (トラクター、刈り払い機、田植機、乾燥機)	43,460,000千円 [調査中] (43,460,000千円) [調査中]
④ 農作物被害 (ha)		900ha (891ha)	いちご、野菜類、麦類、花き等 (いちご、野菜類、麦類等)	2,648,400千円 [調査中] (2,612,850千円) [調査中]
④ 農作物被害 (t)		20,620t (20,620t)	米、大豆の浸水、流失等 (米、大豆の浸水、流失等)	3,929,000千円 [調査中] (3,929,000千円) [調査中]
⑤ 生活環境施設被害		80箇所 (13箇所)	集落排水施設等の損壊 (集落排水施設の損壊)	12,771,973千円 [調査中] (5,056,063千円) [調査中]
⑥ 農地海岸保全施設被害		13.66km (13.66km)	海岸防潮堤の損壊 (海岸防潮堤の損壊)	20,490,000千円 [調査中] (20,490,000千円) [調査中]
(2) 畜産関連被害				
① 畜産施設等被害	多賀城市、七ヶ浜町、女川町を除く県内全ての市町村	151箇所 (74箇所)	畜舎・たい肥センター等の損壊 (畜舎の損壊)	2,934,212千円 [調査中] (962,034千円) [調査中]
② 家畜等被害	(仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、石巻市、東松島市、気仙沼市、南三陸町)	1,433,626頭(羽) (177,946頭(羽))	乳牛、肉用牛、豚、豚卵、ブロイラー (乳牛、肉用牛、豚、豚卵、ブロイラー)	737,762千円 [調査中] (372,895千円) [調査中]
③ 畜産品等被害		8,270t (-t)	生乳、豚卵用たまご (-)	886,033千円 [調査中] (一千円) [調査中]
(3) 林業関連被害				
① 林道施設被害	白石市、角田市、蔵王町、村田町、川崎町、丸森町、仙台市、塩釜市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、七ヶ浜町、大崎市、色麻町、加美町、栗原市、登米市、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町	392箇所 (195箇所)	舗装路面の亀裂、法面の崩壊等(58路線) (舗装路面の亀裂、法面の崩壊等(34路線))	497,821千円 [調査中] (392,350千円) [調査中]
② 林地被害		68箇所 (20箇所)	新生崩壊、保安林流失等(649.3ha)、林野火災(125.5ha) (保安林流失等(640.9ha)、林野火災(125.5ha))	4,884,979千円 [調査中] (3,899,979千円) [調査中]
③ 治山施設被害		55箇所 (37箇所)	土留工の損壊、海岸防潮堤の損壊(18,872m) (海岸防潮堤の損壊(18,872m))	14,198,790千円 [調査中] (13,951,990千円) [調査中]
④ 林産被害(林振)		102箇所 (59箇所)	合板製造施設・製材所等の損壊、キノコ菌床の損壊等 (合板製造施設・製材所等の損壊、原木等の流失等)	36,860,447千円 [調査中] (36,760,177千円) [調査中]
④ " (森整)	(仙台市、塩釜市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、七ヶ浜町、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町)	2箇所 (2箇所)	苗畑・種苗(スギ、ヒノキ等0.9ha、約10万本) (苗畑・種苗(スギ、ヒノキ等0.9ha、約10万本))	16,587千円 [調査中] (16,587千円) [調査中]
(4) 水産業関連被害				
① 水産施設被害	県内の沿岸市町[仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町]	172箇所 (159箇所)	共同利用施設、流通加工施設、内水面施設の損壊等 (共同利用施設、流通加工施設の損壊等)	22,300,000千円 [調査中] (21,400,000千円) [調査中]
② 漁港施設被害		142箇所 (142箇所)	漁港施設の損壊 (漁港施設の損壊)	187,500,000千円 [調査中] (187,500,000千円) [調査中]
③ 漁船等被害	(同上)	12,023隻 (12,023隻)	大破・滅失等(20未満12,005隻、20以上18隻) (大破・滅失等(20未満12,005隻、20以上18隻))	112,900,000千円 [調査中] (112,900,000千円) [調査中]
④ 養殖施設被害		57,886箇所 (57,886箇所)	ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ等施設 (ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ等施設)	18,700,000千円 [調査中] (18,700,000千円) [調査中]
⑤ 水産物等被害		99,045t (98,945t)	ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ、鯉等 (ノリ、ワカメ、コンブ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ)	33,200,000千円 [調査中] (33,100,000千円) [調査中]
⑥ 漁業用資材被害		1,572箇所 (1,572箇所)	定置網(831枚)、養殖用資機材(741台)の損壊等 (定置網(831枚)、養殖用資機材(741台)の損壊等)	18,970,000千円 [調査中] (18,970,000千円) [調査中]
(5) その他(県庁施設等)				
① 農業系施設被害	名取市、岩沼市、大衡村、大崎市、石巻市、女川町、気仙沼市	4箇所 (一箇所)	農業・園芸総合研究所本館等 (一)	49,472千円 [調査中] (一千円) [調査中]
② 畜産系施設被害		2箇所 (一箇所)	畜産試験場、岩出山牧場 (一)	54,364千円 [調査中] (一千円) [調査中]
③ 林業系施設被害		1箇所 (一箇所)	林業技術総合センター (一)	3,568千円 [調査中] (一千円) [調査中]
④ 水産系施設被害		12箇所 (12箇所)	水産技術総合センター等(6)、船舶(6) (水産技術総合センター等(6)、船舶(6))	8,500,000千円 [調査中] (8,500,000千円) [調査中]

* 下段の()書きは、津波被害によるもので内数です。

* 前回からの変更部分にアンダーラインをしています。

東日本大震災

土木部関連公共施設等の状況（4月27日9:30現在）

第64報

（アンダーラインは前回からの変更箇所）

1 災害調査状況と対応

(1)被害状況等

単位：百万円

種別	工種	県所管分 (調査率 81%)		市町村所管分 (仙台市除く) (調査率 77%)		合計	
		件数 (箇所)	概算被害額	件数 (箇所)	概算被害額	件数 (箇所)	概算被害額
		公共土木施設	道路	152	5,363	1,161	9,090
橋梁	202		37,488	19	729	221	38,217
河川	508		24,732	9	57	517	24,789
ダム	28		952	/	/	28	952
海岸	63		62,879	/	/	63	62,879
砂防	8		1,179	/	/	8	1,179
公園	5		3,265	275	35,000	280	38,265
都市災	1		3,100	101	4,000	102	7,100
港湾	392		61,408	/	/	392	61,408
下水道	8		73,400	94	139,990	102	213,390
県営住宅	102		3,355	/	/	102	3,355
小計	1,469		277,121	1,659	188,866	3,128	465,987
土木部所管施設	13	300	/	/	13	300	
合計	1,482	277,421	1,659	188,866	3,141	466,287	
前回比	1	2,226	0	0	1	2,226	

(2)災害査定方針と国との協議状況

- ・ 査定方針を地方公所に通知し、市町村にも周知済
- ・ 国土交通省へ要望していた災害査定の大幅な簡素化が一部決定
 <http://www.mlit.go.jp/report/press/river03_hh_000321.html>
- ・ 沿岸市町の災害調査や査定・災害復旧事務について、全面的に支援
- ・ 災害査定の日程が決定

5月10日から河川局所管の河川・道路について実施（別紙資料P15～P17）

(3)宮城県ホームページへの被災及び復旧状況の掲載について

- ・ 「東日本大震災」関連公共土木施設被災状況を随時更新
 <http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk_taiou/index.htm>

(4)公共土木施設等の復旧・復興工程について

- ・ 各施設の復旧・復興の工程を明確にし、目標をもって取り組むため、工程表を作成

2 道路輸送経路の確保

(1)交通規制の状況

1) 県管理道路について

全規制106路線267箇所中66(+1)路線128(+2)箇所について解除

現在、68(▲1)路線139(▲2)箇所について規制中

全面通行止め 55(▲1)箇所

片側交互通行 84(▲1)箇所

※規制解除箇所(2箇所)

(主)古川佐沼線 栗原市瀬峰新田沢

(主)仙台三本木線 大崎市三本木

○通行規制箇所の解除見通し及び復旧工程について

通行規制箇所の解除については、大規模な法面崩壊等の被災箇所を除き、以下により対応することを目標にする。

- ・緊急輸送道路については、GW前に全面通行止めを解除して、少なくとも片側交互通行を確保し、6月末までには通行規制を解除する。
- ・その他の道路については、6月末までに全面通行止めを解除して、少なくとも片側交互通行を確保し、年内には通行規制を解除する。

これにより、規制箇所の約6割が6月末に、約9割が年内に解除される見通しとなる。なお、道路の復旧工事については、応急工事に引き続き、まちづくりと整合を図りながら本復旧を進め、5カ年程度で完成させる。

※冬期間通行止め区間の解除予定について

蔵王エコーライン(県道白石上山線)や岩手・宮城内陸地震で被災を受けた国道398号、県道築館栗駒公園線等の観光路線についても、復興に向けてGW前の4月28日に冬期閉鎖を解除する。

<橋梁被災状況>

①落橋(12箇所)

・1次緊急輸送道路

(一)石巻工業港矢本線 定川大橋(L=126.0m) <仮橋設置を検討中>

・2次緊急輸送道路

(国)398号 新北上大橋(L=565.7m) <落橋した2径間 仮橋検討中>

(国)398号 新相川橋(L=67.5m) <旧道(迂回路) 通行可>

(国)398号 横津橋(L=32.9m) <仮道で通行可能>

(国)398号 折立橋(L=35.0m) <仮道で通行可能>

(国)398号 女川橋(L=14.0m) <仮道で通行可能>

(主)女川牡鹿線 新二渡橋(L=13.3m) <迂回路で通行可>

(主)女川牡鹿線 野々浜橋(L=5.4m) <仮道で通行可能>

(一)閉上港線 宮下橋(L=26.0m) <仮道で通行可能>

・その他

(主) 奥松島松島公園線 松ヶ島橋 (L=45.5m) <仮道で通行可能>

(主) 塩釜七ヶ浜多賀城線 橋本橋 (L=5.8m) <仮橋で通行可能>

(主) 塩釜七ヶ浜多賀城線 葦森橋 (L=5.4m) <仮道で通行可能>

②重大損傷 (5箇所)

・1次緊急輸送道路

(国) 398号 錦橋 (L=102.0m) : 橋梁桁損傷<橋桁のずれを復旧し, 規制解除することを検討中>

・2次緊急輸送道路

(主) 河南米山線 豊里大橋 (L=349.1m) : 橋脚損傷<4月10日9:00より全面通行止めから普通車のみ通行可能に変更>

・3次緊急輸送道路

(一) 南蔵王白石線 石淵橋 (L=58.0m) : 橋梁段差<4月9日9:00より通行規制解除>

・その他

(主) 相馬亘理線 高浦橋 (L=10.4m) : 橋台移動<仮道で通行可能>

(主) 古川松山線 志田橋 (L=266.2m) : 橋台, 橋脚, 伸縮装置, 支承損傷<対応検討中>

2) 国管理道路

①(国) 45号の3箇所全面通行止め

・石巻市河北町大字成田地内 L=0.1km 法面崩壊<迂回路のため規制区間9.0km>

・歌津大橋 (南三陸町歌津) L=0.3km 落橋

・小泉大橋 (気仙沼市本吉町) L=0.6km 落橋<仮橋工事に着手>

※水尻橋 (南三陸町志津川) は5:00~19:00仮橋にて片側交互通行となっていたが4月25日から24時間通行可能

※二十一浜橋 (気仙沼市本吉町) は仮橋にて2車線通行可能

②(国) 45号の交通確保のため歌津大橋迂回路を直轄国道に区域編入

(一) 払川町向線及び町道伊里前線を (国) 45号の迂回路 (L=約1.2m) として応急的に使用

(2)特に重要な路線の確保状況について

①仙台塩釜港 (仙台港区) 内の J X 日鉱日石エネルギー仙台製油所への燃料輸送ルート確保済

②仙台塩釜港 (塩釜港区) 内の塩釜貞山油槽所への燃料輸送ルート確保済

③鮎川方面への救援ルート確保済

④女川原子力発電所へのアクセス道路確保済

⑤東北電力の停電解消作業への対応

イ 塩竈・多賀城地区のライフラインの確保のため, 国道45号の通行は確保済

ロ 新仙台火力発電所からの送電線確保については対応済

ハ 被災変電所へのルート確保について, 鹿折変電所 (気仙沼営業所管内) へのルート及び仙台港変電所へのルートのがれき撤去作業は完了

3 排水対策について

津波浸水エリアにおいて、施設の早急な復旧と行方不明者の搜索活動のため、自衛隊、県警本部等とも調整しながら排水ポンプ車による排水対策を国土交通省に要請している。各エリアの排水作業状況については、以下のとおり。

	全体箇所	現在稼働箇所	終了箇所	現在稼働台数	主な稼働箇所
仙台市	3	3	0	13	荒浜
石巻市	26	7	19	18	釜谷
名取市	6	0	6	0	
岩沼市	4	0	4	0	
東松島市	17	6	11	18	大曲, 東名
多賀城市	2	2	0	2	仙塩浄化センター
七ヶ浜町	4	1	3	5	阿川沼
亘理町	12	8	4	12	鳥の海周辺
山元町	3	0	3	0	
気仙沼市	3	0	3	0	
南三陸町	3	0	3	0	
合計	83	27	56	68	

4 河川・海岸施設について

津波による浸水地域における河川・海岸の調査状況は、以下のとおり

(1)河川

調査対象 河川数	机上調査済み 河川数	一次調査済み 河川数	二次調査済み 河川数	二次調査中 河川数
51	51	51	37	14

- ・ 浸水地域における調査対象河川51河川のうち37河川については、二次調査が完了し、気仙沼市分（旧本吉町）、南三陸町分、石巻市分（旧北上町）の14河川について二次調査を実施中
- ・ また、迫川・七北田川・砂押川など県内125河川、508箇所では被災を確認。七北田川・定川・大川など65箇所では応急工事を実施。うち45箇所が完了
- ・ なお、県内の北上川・鳴瀬川・阿武隈川・名取川の直轄管理区間については、堤防決壊や沈下など953箇所の被災を確認。30箇所では緊急復旧工事を実施。うち9箇所が完了
- ・ 浸水区域外の河川については、出水期前の5月末までに応急復旧を実施し、概ね2カ年で復旧工事を完了させる。浸水区域の河川については、出水期前の5月末までに瓦礫撤去を行い、洪水期前の6月中に応急復旧、台風期前の8月中に堤防補強を行い、本復旧については引き続き5カ年程度で完成させる。貞山運河は年度内に復興計画を策定し復旧を図っていく。
- ・ ダム施設については、洪水期終了後の10月から1カ年で本復旧を完成させる。

(2) 建設海岸

調査対象 海岸数	机上調査済み 海岸数	一次調査済み 海岸数	二次調査済み 海岸数	二次調査中 海岸数
63	63	63	35	28

- ・ 調査対象海岸63地区海岸について、一次調査が完了
- ・ 二次調査に移行した63地区海岸のうち、35地区海岸で二次調査完了
- ・ 石巻長浜海岸・菖蒲田海岸など7箇所では応急工事を実施。うち5箇所が完了
- ・ 仙台湾沿岸仙台南部海岸31.7km（建設海岸）の災害復旧は国土交通省の実施が決定
4月25日から山元海岸（中浜地区）の緊急復旧工事に着手
- ・ 宮城県沿岸域の応急対策としては、海岸保全施設の復旧のみならず、内水対策を含めた面的な対応が必要であることから、東北地方整備局、東北農政局及び宮城県がお互いに情報を共有し、復旧に向けた情報交換や応急復旧工事等、多岐にわたる連絡調整を図りつつ、早期復旧を目指し、東北地方整備局が主体となって「宮城県沿岸域現地連絡調整会議」を開催
- ・ 三陸南沿岸及び仙台湾中部沿岸については、5月末までに瓦礫撤去、6月中までに仮締切、台風期前の8月中までに堤防補強を行い、本復旧については引き続き5カ年程度で完成させる。仙台湾南部沿岸については、国土交通省が復旧を進めていく。

(3) 港湾海岸

- ・ 石巻港（雲雀野地区、西浜南浜地区）堤防延長3,773mのうち、決壊延長275mについて応急復旧工事を実施中

5 港湾物流機能確保への対応

(1) 主要港湾の応急復旧の状況について

- ・ 地震発生直後より、航路及び臨港道路等の啓開作業を実施し、救援物資等の緊急輸送に最低限必要な物流ルートを確保
- ・ 4月1日（15:00～）、仙台塩釜港及び石巻港の岸壁に一般貨物船の入港可能（4月30日までは、日出から日没まで）

① 仙台塩釜港（仙台港区）

岸壁名	全岸壁数	利用可能数	対象となる標準船形 (載貨重量トン数)
高松埠頭(-12m)	1	1	30,000トン級
中野埠頭1～6号 (-10m～-12m)	6	5	12,000～30,000トン級
フェリー埠頭1号 (-8.5m)	1	1	10,000トン級
フェリー埠頭2号 (-8.0m)	1	0	10,000トン級
雷神埠頭1～2号 (-7.5m～-9.0m)	2	2	5,000～10,000トン級
向洋埠頭(-12m)	1	1	30,000トン級
高砂埠頭 (-12m～-14m)	2	0	
計	14	10	復旧率71% (10/14)

②仙台塩釜港(塩釜港区)

岸壁名	全岸壁数	利用可能数	対象となる標準船形 (載貨重量トン数)
貞山埠頭1~4号 (-7.5m~-9.0m)	4	4	5,000~10,000トン級
東埠頭岸壁(-7.5m)	3	3	50,000トン級
中埠頭岸壁 (-4.5m~-7.5m)	5	5	1,000~5,000トン級
西埠頭岸壁 (-4.5m~-5.5m)	4	4	1,000~2,000トン級
東宮埠頭岸壁 (-5.5m)	1	1	2,000トン級
石油基地7バース (-5.5m~-7.5m)	7	7	2,000~5,000トン級
計	24	24	復旧率100% (24/24)

③石巻港

岸壁名	全岸壁数	利用可能数	対象となる標準船形 (載貨重量トン数)
日和埠頭6~7号 (-9.0m~-10m)	2	2	10,000~12,000トン級
大手埠頭1~5号 (-5.5m~-7.5m)	5	5	2,000~5,000トン級
中島埠頭1~4号 (-5.5m~-10.0m)	4	3	2,000~12,000トン級
南浜埠頭1~3号 (-7.5m~-10.0m)	3	0	
雲雀野中央埠頭(-13m)	2	2	40,000トン級
雲雀野北埠頭(-10m)	1	1	12,000トン級
計	17	13	復旧率76% (13/17)

(2)地方港湾の応急復旧の状況について

気仙沼港及び女川港は、救援物資等の緊急輸送に最低限必要な岸壁の利用が可能

①気仙沼港

岸壁名	全岸壁数	利用可能数	対象となる標準船形 (載貨重量トン数)
朝日埠頭1~3号(-7.5m)	3	3	1,000トン級
朝日埠頭1~3号(-4.5m)	3	3	1,000トン級
計	6	6	復旧率100% (6/6)

②女川港

岸壁名	全岸壁数	利用可能数	対象となる標準船形 (載貨重量トン数)
石浜埠頭(-4.5m~-7.5m)	2	2	1,000~5,000トン級
計	2	2	復旧率100% (2/2)

③その他地方港湾

港名	状況
松島港	・被災状況調査完了
雄勝港	・被災状況調査完了
荻浜港	・被災状況調査完了
表浜港	・被災状況調査完了
金華山港	・被災状況調査完了
御崎港	・被災状況調査完了

(3)仙台塩釜港及び石巻港の復興への取り組みについて

- ・仙台塩釜港及び石巻港の物流機能の早期回復と各港湾背後企業の早期復興に向けて、4月1日（石巻港復興会議）及び2日（仙台塩釜港復興会議）に復興会議を開催

(4)港湾物流再開への動き

- ・自動車運搬船の定期航路が4月7日から再開
- ・名古屋～仙台間の太平洋フェリー定期航路が再開
4月11日に第1船（「きそ」15,795トン）が入港
4月13日に第2船（新「いしかり」15,762トン）が入港
- ・完成自動車の仙台塩釜港からの積み出しが4月16日から再開
- ・セントラル自動車(株)で生産された完成自動車の積み出しが4月21日から再開
- ・4月20日から松島港の大型観光棧橋が利用可能。同29日から観光船定期航路再開予定
- ・4月27日、地震発生後初の一般貨物船が石巻港に入港（別紙資料P18）

(5)各港湾の復旧・復興工程について

- ・仙台塩釜港・石巻港・松島港・気仙沼港については、被災が比較的軽微な施設の応急復旧を急ぐとともに、査定直後から本格的な復旧工事に着手して、平成24年度内の完全復旧をめざす。破堤した防潮堤等は応急復旧を急ぐとともに、査定後本格的な復旧工事に着手して、遅くとも平成25年台風襲来時期までの完全復旧をめざす。
- ・女川港・その他の地方港湾について、特に壊滅的被害のあった女川港湾口防波堤は、査定後本格的な復旧工事に着手し、その他の施設については、港湾背後の市街地が壊滅的な被害を受けていることから、地元自治体のまちづくり復興計画との整合を図りながら着実に復旧を進めていく。
- ・荷主や船主などの港湾利用者に対し、港湾物流機能の復旧状況について正確な情報を提供し、引き続きポートセールスを積極的に展開していく。

6 仙台空港について

- ・ 4月13日, 1日6往復で民間機の発着が再開
全日空3往復(羽田便3往復), 日本航空3往復(羽田便1往復, 伊丹便2往復)

4月27日～	8往復/日	羽田(2), 伊丹(4), 札幌(1), 名古屋(1)
4月29日～5月8日	9往復/日	伊丹(5), 札幌(3), 名古屋(1)

7 仙台空港鉄道の復旧支援について

(1) 鉄道施設の復旧

- ・ 3月15日に鉄道・運輸機構が調査開始
- ・ 県はアクセス鉄道に対し応急復旧を支援
- ・ 国所有の空港トンネル部については, 国(東京航空局)に復旧を要請
- ・ 3月28日, 東北地方整備局が空港トンネル部の排水を開始
- ・ 4月2日から列車運転再開までの間, JR名取駅と美田園駅間(杜せきのした駅経由)1日32往復, JR名取駅と仙台空港間(杜せきのした駅, 美田園駅経由)朝夕2往復において, 代行バスを運行。代行バスは朝6時30分から夜10時50分の間において1時間に約2往復程度を運行。朝夕の時間帯は通勤利用に配慮し多めに運行
- ・ 4月8日以降, 代行バス(名取駅・美田園駅(一部仙台空港駅)間)は終日運休していたが, 4月12日始発から運行再開
- ・ 4月12日より東京航空局が早期被災調査を目的に実施していた, 空港トンネル内のガレキ撤去完了(4月15日)
- ・ 名取駅から美田園駅間で7月末を目処に暫定運行を図り, 名取駅から仙台空港駅間全線運行再開については, 仙台空港ビルの本復旧に合わせ, 9月末を目標

(2) 要望事項

災害復旧事業費補助金では, 鉄道事業者が1/2を負担することになり, その負担が仙台空港鉄道株式会社の今後経営を逼迫することから, 鉄道事業者の負担軽減(補助率のかさ上げ等)を国に要望

8 仙台空港ビルについて

(1) 被災状況

- ・ 空港ビルは中2階まで浸水, 1階部は壊滅状態
調査の結果, 1階部に設置してある電気設備・受変電設備・ボイラー・空調設備・自家発電・消防設備・監視カメラ等の機械電気設備は全滅状態
- ・ 仙台エアカーゴターミナルの保税蔵置場等は津波及び火災により使用不能

(2) 復旧状況

- ・ 本格調査実施中
- ・ 空港ビルへの電力供給に向け, 関係者(東北電力, 空港ビル, 県等)で協議を開始
- ・ 4月13日より暫定供用開始
- ・ 復旧工事を9月末完了予定

(3) 要望事項

- ・ 復旧について新たな融資制度の創設を国に要望

9 流域下水道流末処理施設について

(1)現状と復旧

出水時期前の5月中に主ポンプを復旧して処理場での揚水能力を確保し、処理場内において沈澱・消毒により簡易処理を行いながら復旧工事を進め、平成24年度下半期から段階的に高級処理（生物処理）に切り替え、平成25年度までに完全復旧を図る。

各処理場とも地盤沈下に伴う浸水対策を関係部局と連携して進める。

①阿武隈川下流流域（岩沼市）

- ・緊急溢水対策を完了し、応急対策として5月中旬までにメインポンプを復旧し、処理場内のみ沈澱処理への切り替え作業中
- ・名取ポンプ場、仮設ポンプにより運転中
- ・増田川で沈澱池を設置し、沈澱放流中
- ・処理場内で仮設沈澱池を設置し、沈澱放流中

②仙塩流域（多賀城市）

- ・応急対策として処理場内での沈澱池処理実施中
- ・4月20日からメインポンプ（95m³/分）1台稼働
- ・国土交通省の排水ポンプ車は26日撤収

③北上川下流東部流域（石巻市）

- ・緊急溢水対策を完了し、応急対策として5月中旬までに処理場内のみ沈澱処理への切り替え作業中
- ・処理場内放流実施中
- ・旧北上川へ沈澱池を通して排水中

④市町村からの要請を受け、（社）日本下水道協会策定の「下水道事業における災害支援に関するルール」に基づき、公共下水道の調査について他県から緊急調査隊を受け入れ中

⑤雨天時の流入下水水量増加など、様々な状況を勘案した応急対策を実施していく

(2)下水道復旧に関する県民への協力呼びかけ

- ・住民や事業者に対しては市町村からも周知徹底を依頼
- ・4月1日、仙塩浄化センターの被害状況、排水作業状況をマスコミに公開
- ・利用者に対し、水の使い回しなどによる節水を引き続き要請

10 仮設住宅等への対応

(1)仮設住宅の建設

- ・（社）プレハブ建築協会へ仮設住宅1万戸の建設を要請（3月14日）し、建設用地調査等を開始（3月18日）
- ・市町村営住宅の被災状況や応急仮設住宅の建設用地等の調査に県職員が市町を巡回（3月17日開始）
- ・（社）プレハブ建築協会へ仮設住宅2万戸を追加し合計3万戸の建設を要請（4月1日）
- ・県内事業者を含めた国内外の住宅生産能力を最大限に活用することとし、応急仮設住宅の建設事業者公募の実施を（一般社団）すまいづくりまちづくりセンター連合会に要請（4月6日）
- ・第1次から第4次分13市町全て着工済み（4月22日 6,804戸）
- ・最初の完成引渡予定は、4月28日（13市町 1,312戸）

- ・仮設住宅12,000戸について、4月末までに第6次着工予定を取りまとめ、5月中旬までの着工をめざし、残りの必要とされる住宅の供給は、8月までに累計3万戸に着工し、9月末完成予定
- ・4月23日、第5次着工予定表を公表（13市町 2,200戸、4月25日から順次着工）

市町村	着工済戸数				予定	合計	引渡予定 (4/28)
	第一次	第二次	第三次	第四次	第五次		
公表日	3月23日	4月1日	4月8日	4月16日	4月23日		
仙台市	119	114	118	176	195	722	119
石巻市	137	205	363	556	564	1,825	241
塩竈市	60	48	0	0	0	108	60
気仙沼市	106	178	114	503	402	1,303	106
名取市	102	102	326	211	0	741	102
多賀城市	45	0	54	0	150	249	45
岩沼市	102	160	62	0	50	374	102
東松島市	112	154	165	292	200	923	112
亶理町	116	95	208	179	256	854	116
山元町	78	100	151	88	90	507	78
七ヶ浜町	115	0	36	105	57	313	115
女川町	57	0	0	102	130	289	57
南三陸町	56	53	257	324	80	770	59
大郷町	—	—	—	—	14	14	—
美里町	—	—	—	—	12	12	—
計	1,205	1,209	1,854	2,536	2,200	9,004	1,312
累計	1,205	2,414	4,268	6,804	9,004		

- ・輸入住宅資材を用いた応急仮設住宅供給事業者の提案受付について
受付終了：4月15日（金）～4月25日（月）
受付窓口：（一般社団）すまいづくりまちづくりセンター連合会
- ・県内事業者を含む国内の応急仮設住宅供給事業者の提案受付について
受付期間：4月19日（火）～4月28日（木）
受付窓口：宮城県土木部住宅課
審査等：（一般社団）すまいづくりまちづくりセンター連合会

(2)公営住宅の提供

- ・県営住宅85戸を提供済み（3月14日 3月定期募集を停止分）
- ・県営住宅65戸について、空き家修繕工事の予定が立ったことから、応急仮設住宅として所在市町への追加提供を決定（4月13日 6月定期募集停止分）

11 被災住宅・宅地に関する県の支援

(1) 応急危険度判定

① 被災建築物応急危険度判定

- ・ 応急危険度判定は市町村の要望による個別調査に切替え、り災証明に係る市町村調査支援に重点を置き、宮城県建築士会、宮城県建築士事務所協会、日本建築家協会宮城の協力を得て実施中。また、4月7日地震を受け、再度の応急危険度判定及び津波浸水域での応急危険度判定を3市4町で4月15日～4月26日に実施(5,700棟)
- ・ 応急危険度判定は5月31日完了予定、り災証明に係る市町村調査支援については6月30日完了予定

市町村実施状況		実施見込 (4/27)	判定結果 (3/11～4/26)
完了 9市14町	石巻市、塩竈市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、加美町、涌谷町、美里町	対象棟数 約200棟 実施体制 約20名 約10班	危険 4,812 要注意 7,043 調査済 34,929
実施中 3市4町	仙台市、多賀城市、東松島市、亶理町、山元町、女川町、南三陸町		合計 46,784
予定無し 1市3町1村	気仙沼市、七ヶ宿町、川崎町、大衡村、色麻町		(4/26 17:00 現在)

※「調査済」は「危険」または「要注意」に該当しないものを示す

② 被災宅地危険度判定

- ・ 仙台市内で実施中

市町村実施状況		実施見込 (4/27)	判定結果 (3/13～4/26)
完了 2市7町	角田市、岩沼市、川崎町、亶理町、山元町、松島町、利府町、大和町、加美町	対象宅地数 約50宅地 実施体制 10名/日 5班/日	危険 705件 要注意 1,203件 調査済 1,344件
実施中 1市	仙台市		合計 3,252件
予定無し 7市13町1村	石巻市、塩竈市、気仙沼市、多賀城市、白石市、名取市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、七ヶ浜町、大郷町、富谷町、大衡村、色麻町、涌谷町、美里町、女川町		(4/26 15:45 現在)
調整中 1町	南三陸町		

※被災宅地危険度判定

宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合、二次災害を軽減・防止するため、被災宅地の危険度を判定し、所有者に対し情報提供を行うもの。

(2)住宅相談

被災者に対する住宅相談の実施について

「被災住宅相談窓口」を土木事務所・地域事務所及び建築宅地課に設置し、被災住宅に関する県民からの相談に応じるとともに、市町村の「被災住宅相談窓口」を支援

(3)住宅の応急修理

- ・ 県の実施要領が4月1日付けで決定となったことを受け、市町村の「被災住宅相談窓口」や各避難所において周知し相談に応じるなど市町村の実施を支援
- ・ 市町村の進捗状況を確認しながら、10月完了を目標に市町村を支援

12 県有建築施設への対応

県有建築物被災状況調査

調査依頼件数	調査済				未調査
	被害額算定済		算定中		
	件数	被害額(百万円)	件数		
183	156	78	6,658	78	27

- ・ 被災した県有建築物の早期復旧を目指して、計画的に復旧工事等を進めていく。

13 まちづくり復興支援

- ・ 被災地の無秩序な開発を防ぐための建築制限を実施(4月8日指定)
 - ① 建築基準法に基づき緊急避難的に建築を制限(最長2ヶ月5月11日まで)
(気仙沼市,南三陸町,女川町,東松島市,名取市,石巻市(特定行政庁))
現行法の制限期間2ヶ月を更に延長できるよう法改正を要望。11月11日まで延長見込み
 - ② その後、被災市街地復興特別措置法に基づき建築を制限(最長2ヶ年)
- ・ 被災市町の復興まちづくり計画策定支援
甚大な津波被害を被った沿岸部市町に対し、地元の意向を踏まえ、県が主体となって復興まちづくり計画を策定し、市町村を支援

14 土木部所管の公共施設上の災害廃棄物処理について

(1) 国道・県道

道路上の災害廃棄物(瓦礫等)について、早期の復旧・復興を図る観点から交通確保のため撤去を実施中

実施路線：国道398号，(主)石巻鮎川線，(主)塩釜亘理線，
(主)相馬亘理線，(主)角田山元線，(主)気仙沼高田線，
(主)気仙沼唐桑線，(一)石巻女川線，(一)大島浪板線等の34路線

(2) 河川

今後の出水期を迎え洪水による二次災害を防止するため河川に堆積した災害廃棄物の撤去を実施中

実施河川：五間堀川，七北田川，増田川，坂元川，戸花川，東名運河，大沢川，
皿貝川，八幡川，大川，鹿折川等の23河川

15 応援協力状況

(1)災害時応援協定に基づく地震津波被害への応援協力実施中の協会

- ・ 3月14日付で以下の協会に依頼通知済み

宮城県建設業協会
宮城県測量設計業協会
建設コンサルタンツ協会
土工協東北支部
埋立浚渫協会
宮城県造園建設業協会
宮城県宅地建物取引業協会
全国特定法面協会
プレハブ建築協会
東北地質調査業協会
全日本不動産業協会
住宅金融支援機構
宮城県建築士会
宮城県建築士事務所協会
日本建築家協会東北支部宮城地域会
日本建築構造技術者協会東北支部

(2)国・他県等からの支援状況

支援項目	期間	延べ人数	機関数・自治体数
仮設住宅支援	3月16日から	510	7
災害復旧・復興先遣調査	3月18日から4月5日まで	51	4
災害復旧支援	4月11日から4月28日まで	307	4
下水道災害調査	3月18日から	2,725	106
復興に関する情報提供	3月28日・4月14日	6	2

・物資の支援

関西広域連合(兵庫県, 鳥取県, 徳島県)から大型土のう約44,000袋提供
コマツ建機販売(株)東北カンパニーから建設機械の無償貸与の協力申入れ
があり, 自衛隊の捜索作業に使用する重機14台(油圧ショベル0.5m³を8台,
ミニ油圧ショベル0.11m³を6台)を4月20日に現地(石巻、気仙沼方面)に配置

16 その他

- ・津波被害による失職者等の積極的な雇用について, 建設業協会等9団体に要請
- ・平成23年東北地方太平洋沖地震による災害復旧工事等における暴力団の排除について, 建設業協会等9団体及び市町村長に対し要請
- ・平成23年東北地方太平洋沖地震で被災された皆様への, 使用料・手数料等の減免措置について(4月1日)土木部ホームページに掲載
- ・みやぎ復興だよりの発行について

道路や河川の復旧状況や、仮設住宅の建設状況を避難所等にいる方にもお知らせするため、「みやぎ復興だより」を発行

県内を4ブロックに分けた地域版(①気仙沼市・南三陸町版 ②石巻市・東松島市・女川町版 ③塩竈市～岩沼市までの沿岸市町版 ④亙理町・山元町版)と港湾版、空港版を作成し、平成23年4月下旬から随時配布及びホームページに掲載予定

余白

記者発表資料
 平成23年4月27日
 土木部防災砂防課
 連絡先：211-3175
 担当：志田、高橋

平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う 公共土木施設の災害査定について

1. 概要

平成23年5月10日（火）から、「平成23年東北地方太平洋沖地震」により発生した公共土木施設の災害箇所について、県及び市町村からの公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく申請により、国土交通省の災害査定官、財務省の立会官が被災現地に出向いて、事業費を決定する災害査定が行われます。

2. 実施期間

国土交通省の所管局	実施期間	査定回数
河川局	5/10(火)～7/15(金)	10次
都市局	6/6(月)～11/11(金)	6次
港湾局	7/4(月)～8/5(金)	5次

(4月27日現在で実施が決定しているもののみ記載)

3. 概況説明

査定の実施に先立ち、国土交通省の査定官、財務省の立会官に概況説明を行います。

日時：5月10日（火） 10時から10時30分まで

場所：自治会館200・201会議室

4. 現地査定公開箇所

【道路災害】

場所：白石市道寺前線 白石市南町地区

開始時刻：11時25分から開始予定

(交通事情等により若干遅延する場合があります。)

5. 取材

- ・概況説明、現地査定公開箇所は取材可能です。
- ・なお、現地査定公開箇所の取材は、裏面により対応願います。

6. 5月10日から12日までの第1次査定（河川局所管）の管内・工種別内訳

管内	県工事			市町村工事			計		
	河川	道路	小計	河川	道路	小計	河川	道路	合計
大河原土木事務所	15	18	33	—	1	1	15	19	34
仙台土木事務所	5	—	5	—	14	14	5	14	19
北部土木事務所	10	30	40	—	—	—	10	30	40
北部土木事務所栗原地域事務所	11	—	11	—	—	—	11	—	11
東部土木事務所登米地域事務所	6	—	6	—	—	—	6	—	6
合計	47	48	95	0	15	15	47	63	110

平成23年 4月27日
宮城県土木部

「平成23年東北地方太平洋沖地震」に伴う
公共土木施設の現地査定公開箇所の取材について（お願い）

このことについて、次のとおり対応いたしますので、ご協力をお願いします。

1. 取材可能箇所及び内容

白石市道寺前線（白石市南町地区）における現地での査定状況
（位置図は別参照）

2. 取材可能日時

平成23年5月10日（火）11時25分から
（交通事情等により若干遅延する場合があります。）

3. 査定時のお願い

- (1) 今回の災害査定は被災箇所が極めて多く、大変厳しい日程となっております。円滑に査定を行うため、上記日程以外の取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。
また、協議内容が判別できる撮影、録音はご遠慮ください。当日の取材は、宮城県大河原土木事務所の職員が対応しますので、査定官、立会官等への取材はご遠慮願います。
- (2) 駐車場は、白石市立白石中学校（白石市南町1丁目2）の県道白石丸森線側に約10台を準備しています。当日は白石市の職員が誘導しますので誘導員の指示にしたがってください。
- (3) 現地は足元が悪いので、安全に十分注意の上取材をお願いします。

4. 参考（査定スケジュール等）

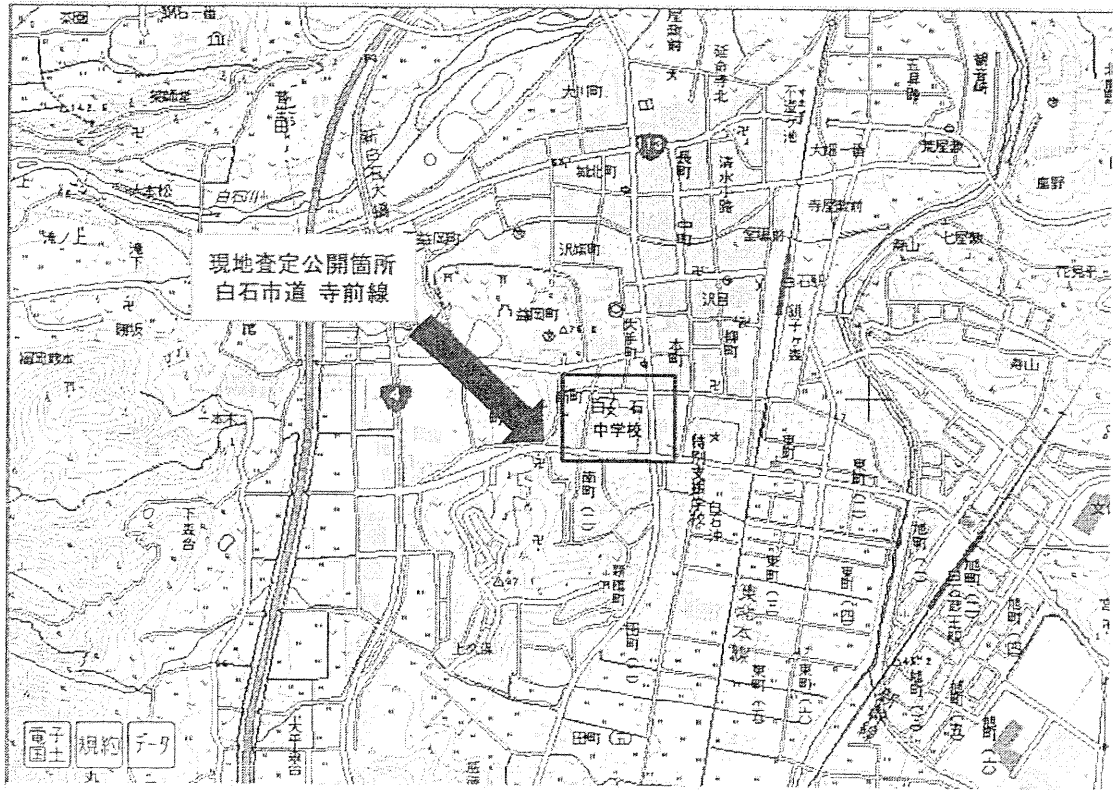
- (1) 査定の期間
平成23年5月10日～7月15日（河川局所管分）
- (2) 査定概要
現地又は机上での災害査定を実施

5. 問い合わせ窓口

防災砂防課防災企画班 連絡先：022-211-3175
担 当：志田，高橋

※ 上記日程等は状況により変更となる場合があります。

宮城県第1次査定 現地査定公開箇所位置図



白石市南町 市道寺前線

記者発表資料
平成23年4月26日
宮城県石巻港湾事務所
担当：港政班（土井原、佐藤）
電話：090-6787-6655
宮城県土木部港湾課
担当：港政班（福田）
電話：022-211-3212

石巻港における地震発生後初の貨物船入港について

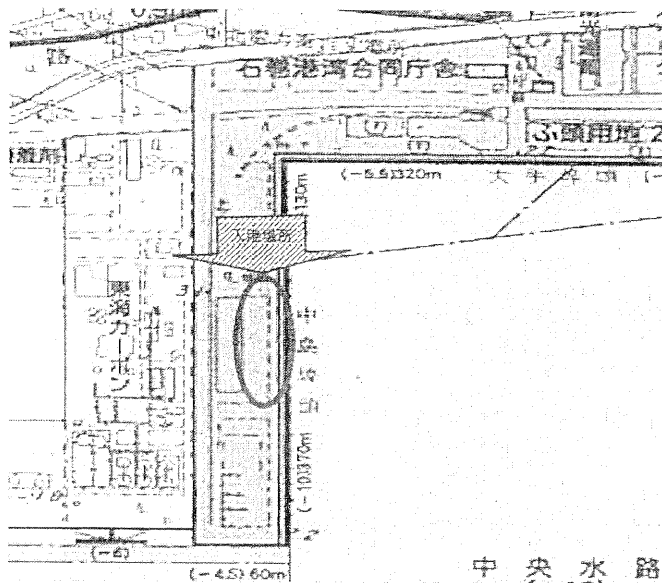
石巻港においては4月1日午後3時から一般船舶の入港が可能となったところですが、地震発生後初めて、一般貨物船「SWERTIA」が入港することとなりました。

1 入港船舶

- 船名：「SWERTIA（スエルティア）」
- 船籍：パナマ
- 船長：105m
- 総トン数：3,661トン
- 船舶代理店：南光運輸株式会社

2 入港日時・岸壁

- 日時：平成23年4月27日（水）午後3時予定
※日時は天候により変更になる場合があります。
なお、荷揚作業は翌日（28日）になる予定です。
- 岸壁：石巻港 中島2号岸壁（石巻市中島町173）



3 積載貨物（現時点での情報）

- 合板（住宅用構造合板・建築用型枠合板） 1,800トン

4 その他

- 取材受付 石巻港湾事務所 港政班（土井原、佐藤） 090-6787-6655
※取材される方は、必ず事前に石巻港湾事務所に御連絡いただき、入港時間・取材場所を確認の上おいでいただきますようお願いいたします。

23. 4. 27 0600現在
自衛隊

平成23年東日本大震災災害派遣実績

(凡 例)
陸 : 宮城県内での実績
海・空 : ALL JAPANの実績

前回からの変化

第65回災害対策本部会議 [23.4.26 1000]		第66回災害対策本部会議 [23.4.27 1000]	
陸	+	陸	+
海	+	海	+
空	+	空	+
人命救出		人命救出	
10,833名		10,833名	
896名		896名	
3,471名		3,471名	
生活支援		生活支援	
陸	食料 : 4,471,000食 水 : 13,102t 燃料 : 783.1KL 入浴 : 227,045名	陸	食料 : 4,513,805食 水 : 13,199t 燃料 : 784.1KL 入浴 : 233,150名
海	食料 : 128,616食 水 : 138.7t 入浴 : 10,286名 燃料 : 199.5KL	海	食料 : 128,616食 水 : 138.7t 入浴 : 10,538名 燃料 : 199.5KL
空	総運搬量 : 2545.0t 燃料 : 206.6KL	空	総運搬量 : 2551.7t 燃料 : 206.6KL
御遺体収容		御遺体収容	
陸	5,225体	陸	5,245体
海	350体	海	359体
空	19体	空	19体

前回からの変化	
陸	+
海	+
空	+
↑	
【陸上自衛隊】	
食料 : +	42,805食
(炊き出し)	26,119食含む
水 : +	97t
燃料 : +	1KL
入浴 : +	6,105名
【海上自衛隊】	
水 : +	-t
入浴 : +	252名
燃料 : +	-t
【航空自衛隊】	
総運搬量 : +	6.7t
燃料 : +	-KL
陸	+
海	+
空	+
陸	20体
海	9体
空	1体

ご遺体の検視作業の現状

警察本部

遺体安置（収容）状況（4月26日午後8時現在）

1 総 数 8,743体（累計）

2 26日の収容数 43体

No.	地 域	安置（収容）場所	安置（収容）数	
			26日	現収容数
1	仙台・塩釜周辺	セキスハイムスーパーアリーナ(グランデイ21内)	6	44
2	亘理・山元周辺	旧角田女子高等学校	3	47
3	名取・岩沼周辺	旧仙台空港ボウル	0	3
4		岩沼市民体育センター	0	6
5	石巻・東松島周辺	旧石巻青果花き地方卸売市場	14	31
6		東松島小野地区体育館	2	41
7		石巻市河北飯野体育研修センター	2	23
8	女川周辺	女川町民多目的運動場(女川運動公園内)	2	6
9	気仙沼周辺	すぱーく気仙沼	12	59
10	南三陸周辺	スポーツ交流会館ベイサイドアリーナ(南三陸町)	2	21
合 計			43	281

東日本大震災に伴う立学校等の被害状況等について(調査継続中)

宮城県教育委員会
平成23年4月27日(水)9時現在

事務所	市町村	学校数 (公立幼稚園・学校)	人的被害等(人)				施設被害等 (校数)	その他 避難先となつ ている学校数	
			死者 教職員	不明(確認中含む) 教職員	負傷者 教職員	教職員			
									幼児・児童・生徒
北管内	大崎市	61			1		17		
	加美町	17					13		
	色麻町	5					4		
	涌谷町	12			1		8		
	美里町	14					13		
	計	109			2		55		
栗原管内	栗原市	64			2		44		
東管内	石巻市	71	149	11		30	1	56	32
	東松島市	16	25			8		14	2
	女川町	5				4		5	2
	計	92	174	11		42	1	75	36
登米管内	登米市	48						48	1
南三陸管内	気仙沼市	40	6			7	2	38	14
	南三陸町	8	2	2		1		8	4
	計	48	8	2		8	2	46	18
合計		882	285	15	74	3	14	697	82

【施設被害額(調査継続中)】

県立学校計: 91校 26,491,891 (千円)
 市町村立学校計: 606校 47,343,946 (千円)
 社会教育施設計: 540施設 25,040,396 (千円)
 文化財計: 238件 (調査中)
 合計: 98,876,233 (千円)

(市町村立学校計には、44カ所の給食センターの被害額を含む)

事務所	市町村	学校数 (公立幼稚園・学校)	人的被害等(人)				施設被害等 (校数)	その他 避難先となつ ている学校数
			死者 教職員	不明(確認中含む) 教職員	負傷者 教職員	教職員		
大河原管内	県立学校	97	63	1	21	1	91	8
	仙台市	201	6			9	164	3
	白石市	24					16	
	角田市	14					12	
	蔵王町	13					11	
	七ヶ宿町	3					2	
	大河原町	5					5	
	村田町	9					8	
	柴田町	10					9	
	川崎町	12					3	
	丸森町	13					1	
	計	103					67	
	台管内	塩竈市	12	1				11
名取市		20	20	1	3		17	8
亶理町		10	2				10	4
山元町		7	7				7	3
岩沼市		8	3				8	
松島町		7					4	
多賀城市		10					10	
七ヶ浜町		5	1				5	
利府町		9					9	
大和町		9					3	
大郷町		6					6	
富谷町		14					14	
大衡村		3					3	
計	120	34	1	3		107	16	

東日本大震災に係る企業局所管施設等の状況 (平成23年4月27日8:30現在)

1 被害状況報告

(1) 大崎広域水道事務所関係

①大崎広域水道は、4月12日全て復旧完了

(広域水道37箇所での被害を確認し、32箇所復旧済み(5箇所は用水供給に支障なし))

②仙台北部工業用水道は、4月1日全て復旧完了

(工業用水道7箇所での被害を確認し、復旧済み。4月7日の地震では被害無し)

区分	件数	概算被害額(千円)
水道用水供給事業	37	533,432
工業用水道事業	7	72,278

(2) 仙南・仙塩広域水道事務所関係

①仙南・仙塩広域水道は、4月16日全て復旧完了

(広域水道15箇所での被害を確認し、14箇所復旧済み(1箇所は用水供給に支障なし))

区分	件数	概算被害額(千円)
水道用水供給事業	15	505,946

(3) 工業用水道事務所関係

①仙塩・仙台圏工業用水道は、4月22日全て復旧完了

(工業用水道113箇所での被害を確認し、109所復旧済み(4箇所は用水供給に支障なし))

区分	件数	概算被害額(千円)
工業用水道事業	113	522,641

(4) アクセル等関係

応急危険度判定を実施し、構造体に問題ないことを確認(3月17日 14:30)

車両等漂着物の撤去作業に着手(3月19日 8:00)

車両等漂着物を駐車場北東の一角に集積済み(3月20日 17:00)

応急工事に着手(仮囲い作業)(3月22日 9:00)

災害による開口部の閉鎖、駐車場の清掃完了(3月24日 16:40)

応急工事(仮囲い作業)完了(3月29日 16:30)

4月7日の地震の影響について施行業者による目視点検実施。構造体には問題なし(4月8日 13:40)

応急仮復旧工事着工(4月15日 8:00)

区分	件数	概算被害額(千円)
地域整備事業	4	902,799

※アクセルの(株) 仙台港貿易促進センター持分の被害額を含む。

企業局所管施設等の被害状況(平成23年4月27日 8:30現在)

地震種別	事務所名等		件数	概算被害額(千円)	備考
3月11日 東日本 大震災	上	大崎広域水道事務所関係	37	533,432	
	水	仙南・仙塩広域水道事務所関係	15	505,946	
	上水計		52	1,039,378	
	工	大崎広域水道事務所関係	7	72,278	
	水	工業用水道事務所関係	113	522,641	
	工水計		120	594,919	
	地域整備事業関係		4	902,799	
	合計		176	2,537,096	

※ 地域整備事業関係には株式会社仙台港貿易促進センターの持分に係る被害額を含む。